令和４年度

事業報告書

ご利用者と
介護者の
二人三脚で…

社会福祉法人
海望福祉会
KAIBOUFUKUSHIKAI
”蜃気楼が見えるふくし施設”

目　　次

沿　　革 …… 1

法　　人

1 法人の概要 …… 2
2 法人の行う事業 …… 2
3 役員等の状況 …… 3
4 理事会開催状況 …… 3
5 監事の監査状況 …… 4
6 評議員会開催状況 …… 4
7 寄付金の状況 …… 4
8 資格取得の状況 …… 4
9 研修等参加の状況 …… 5
10 実習等・視察・見学の受入、講師・講演依頼 …… 5
11 災害事故防止対策 …… 6
12 地域における公益的な取り組み …… 7
13 腰痛予防対策 …… 8
14 各会議 …… 11
15 各委員会 …… 12

特別養護老人ホームあんどの里

1 職員配置 …… 13
2 介護福祉施設収入 …… 13
3 空床型短期生活介護施設事業収入 …… 13
4 空床型短期入所(ｼｮｰﾄｽﾃｲ)利用状況 …… 13
5 入退所者等の状況 …… 13
6 入所者の状況 …… 14
7 入所者の健康診断実施状況 …… 15
8 入所者の入院状況 …… 15
9 看取り介護実施者数 …… 15
10 感染症予防対策 …… 15
11 機能訓練月別実施内訳 …… 16
12 機能訓練別対象者数 …… 16
13 苦情解決の状況 …… 16
14 栄養ケア・マネジメント …… 17

あんどの里デイサービスセンター

1 職員配置 …… 20
2 介護保険収入等 …… 20
3 デイサービス月別利用状況 …… 20
4 要介護度別利用者数 …… 21
5 サービスの状況 …… 21
6 苦情解決の状況 …… 21
7 余暇時間の活動メニュー …… 21
8 機能訓練月別実施内訳 …… 22
9 機能訓練別対象者数 …… 22

あんどの里居宅介護支援事業所

1 職員配置 …… 23
2 介護計画書作成件数推移 …… 23
3 契約者推移 …… 23

あんどの里移動サービス

1　登録状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
2　利用実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

デイサービスあんどの里ありそ館

1　職員配置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
2　介護保険収入等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
3　デイサービス月別利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
4　要介護度別利用者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
5　サービスの状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
6　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
7　余暇時間の活動メニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
8　レジオネラ菌感染防止対策の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
9　災害事故防止対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

ヘルパーステーションあんどの里ありそ館

1　職員配置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
2　介護保険収入等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
3　ヘルパーステーション月別利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
4　要介護度別利用者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
5　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

デイサービス花みずき

1　職員配置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
2　介護保険収入等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
3　デイサービス月別利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
4　要介護度別利用者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
5　サービスの状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
6　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
7　余暇時間の活動メニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
8　レジオネラ菌感染防止対策の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
9　災害事故防止対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

ヘルパーステーション花みずき

1　職員配置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
2　介護保険収入等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
3　ヘルパーステーション月別利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
4　要介護度別利用者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
5　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

デイサービス花みずき弐番館

1　職員配置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
2　介護保険収入等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
3　デイサービス月別利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
4　要介護度別利用者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
5　サービスの状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
6　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
7　余暇時間の活動メニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
8　レジオネラ菌感染防止対策の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
9　災害事故防止対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

ヘルパーステーション花みずき弐番館

1　職員配置 …… 35
2　介護保険収入等 …… 35
3　ヘルパーステーション月別利用状況 …… 35
4　要介護度別利用者数 …… 35
5　苦情解決の状況 …… 35

小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館

1　職員配置 …… 36
2　介護保険収入等 …… 36
3　月別利用状況 …… 36
4　介護度別利用者数 …… 37
5　サービスの状況 …… 37
6　苦情解決の状況 …… 37
7　余暇時間の活動メニュー …… 37
8　レジオネラ菌感染防止対策の状況 …… 38
9　災害事故防止対策 …… 38

障害者支援施設ひゞき
ショートステイひゞき
ひゞき計画相談支援事業所

1　職員配置 …… 39
2　障害福祉サービス費等収入 …… 39
3　障害福祉サービス費等収入（短期入所） …… 39
4　障害福祉サービス費等収入（計画相談支援） …… 39
5　短期入所利用状況 …… 39
6　入所者の状況 …… 40
7　健康診断実施状況 …… 40
8　苦情解決の状況 …… 40
9　機能訓練月別実施内訳 …… 41
10　機能訓練別対象者数 …… 41
11　年間の主な行事 …… 41
12　栄養ケア・マネジメント …… 42

ぶどうの森

1　職員配置 …… 47
2　障害福祉サービス費等収入 …… 47
3　就労支援事業収入 …… 47
4　利用者の状況 …… 47
5　苦情解決の状況 …… 47
6　災害事故防止対策 …… 47

グループホーム花みずき弐番館

1　事業体制等 …… 48
2　障害福祉サービス費等収入 …… 48
3　入所者の状況 …… 48
4　苦情解決の状況 …… 48

ケアメントハウスあんどの里ありそ館

1　事業体制等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
2　高齢者住宅事業収入 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
3　入居者の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
4　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

ケアメントハウス花みずき

1　事業体制等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
2　高齢者住宅事業収入 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
3　入居者の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
4　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

ケアメントハウス花みずき弐番館

1　事業体制等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
2　高齢者住宅事業収入 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
3　入居者の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
4　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

ケアメントハウス花みずき参番館

1　事業体制等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
2　高齢者住宅事業収入 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
3　入居者の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
4　苦情解決の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

沿　　革

H12.6.1	社会福祉法人海望福祉会　発起人会設立
H13.8.20	社会福祉法人海望福祉会設立認可　設立総会
H13.8.24	社会福祉法人海望福祉会　法人登記
H14.4.15	特別養護老人ホームあんどの里（定員50名）　第1670400298　号
H14.4.16	あんどの里指定通所介護事業所（定員26名）　第1670400306　号
H15.8.1	あんどの里居宅介護支援事業所　第1670400371号
H15.10.1	特別養護老人ホームあんどの里（短期入所生活介護）　第1670400397　号
H16.9.1	あんどの里デイサービス花水木　第1670102902号（現：デイサービス花みずき）
H18.4.12	特別養護老人ホームあんどの里入所定員の認可　（50名→80名）
H18.4.12	身体障害者療護施設ひゞき（定員20名）　第16000100313412号
H18.4.12	ショートステイひゞき（定員2名）　第16000100313131号
H18.10.1	あんどの里デイサービス花みずき定員（20名→25名）変更
H19.4.1	ヘルパーステーション花みずき　第1670104262号
H19.4.19	介護あんしんアパート　ケアメントハウス花みずき（18室）（現：有料老人ホーム）
H20.4.1	障害者支援施設ひゞき　第1610400028号　　生活介護（定員20名）　施設入所支援(定員20名) （障害者総合支援法移行の為）
H21.4.1	デイサービス花みずき弐番館　第1670104833号
H21.4.1	ヘルパーステーション花みずき弐番館　第1670104841号
H21.4.1	グループホーム花みずき弐番館（障害者）（定員4名）　第1620100154号
H21.4.1	デイサービス花みずき弐番館（基準該当生活介護）　第1640100382号
H21.9.1	あんどの里デイサービスセンター定員変更　　26名→35名
H21.10.1	デイサービス花みずき（基準該当生活介護・基準該当自立訓練）　第1640100390号
H22.8.19	ケメントハウス　花みずき弐番館　高齢者円滑入居賃貸住宅登録　第38号（現：有料老人ホーム）
H23.1.20	ケアメントハウス花みずき参番館　高齢者円滑入居賃貸住宅登録　第57号（現：有料老人ホーム）
H23.4.1	小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館　第 1690100399号
H23.4.1	デイサービス友道　　第1670400579号
H23.11.1	あんどの里デイサービス定員変更　（35名→40名）
H24.4.20	ケアメントハウスあんどの里ありそ館　サービス付き高齢者向け住宅　第4号
H24.6.1	デイサービスあんどの里ありそ館　第1670400611号
H24.6.1	ヘルパーステーションあんどの里ありそ館　第1670400603号
H24.9.15	ショートステイひゞき定員変更　　（2名→3名）
H25.7.1	ケアメントハウス花みずき　居室数変更　（18室→21室）
H26.4.16	特別養護老人ホームあんどの里東館（30名）　第1670400678号 （一部ユニット型特別養護老人ホーム等の廃止に伴う）
H26.4.16	特別養護老人ホームあんどの里東館　ユニット型短期入所生活介護　第1670400678号
H26.12.10	あんどの里本館1F増築改修工事　　事業費　22,630千円
H28.2.1	ひゞき計画相談支援事業所　第1630400040号
H28.6.1	ヘルパーステーションあんどの里ありそ館　第1610400150（居宅介護、重度訪問介護、行動援護）
H28.8.1	中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業　事業費　74,000千円　（あんどの里、ひゞき）
H28.10.1	魚津市介護予防・生活支援サービス総合事業の指定（サービスA） あんどの里デイサービスセンター、デイサービス友道、デイサービスあんどの里ありそ館
H29.4.1	富山市介護予防・日常生活支援総合事業の指定 デイサービス花みずき、デイサービス花みずき弐番館
H29.5.21	生活困窮者就労訓練認定事業人認定　第1620400034　号
H30.3.1	津波時における魚津市一時避難施設としての使用に関する協定を締結
H30.3.16	魚津市日中一時支援事業所　受託
H31.3.1	ぶどうの森（富山県指令障第747号）　1610400234号 (就労継続支援B型)
R2.3.31	デイサービス友道　事業統合のため閉鎖
R2.4.1	ぶどうの森　（富山県指令障第708号）　1610400234号　（生活介護事業） 多機能事業所　（就労継続支援B型　14名　　生活介護事業6名）
R3.12.23	ぶどうの森工房（やきいも・ほしいも製造販売）

法　人

令和5年3月31日　現在

1　法人の概要

主たる事業所の所在地	富山県魚津市仏田3468番地
代表者	理事長　大﨑利明
法人認可年月日	平成13年8月20日
法人認可番号	富山県　高第1185号
設立登記年月日	平成13年8月24日

2　法人の行う事業

(1)第一種社会福祉事業

施設種別	特別養護老人ホーム	障害者支援施設
施設名称	あんどの里	ひゞき
管理者	大﨑雅子	大﨑雅子
定員	80名	20名

(2)第二種社会福祉事業

施設種別	老人短期入所事業	老人デイサービス事業	老人デイサービス事業（共生型）
施設名称	あんどの里	あんどの里	あんどの里ありそ館
管理者	大﨑雅子	大﨑雅子	松倉奈津子
定員	空床型	40名	10名

施設種別	老人デイサービス事業（富山型）	老人デイサービス事業（富山型）
施設名称	花みずき	花みずき弐番館
管理者	今井和史	今井和史
定員	25名	10名

施設種別	老人居宅介護事業	老人居宅介護事業	老人居宅介護事業	小規模多機能型居宅介護事業
施設名称	あんどの里ありそ館	花みずき	花みずき弐番館	花みずき参番館
管理者	中西英司	村井良多	前田昌美	藤山洋樹
定員	—	—	—	25名

施設種別	障害者短期入所事業	障害者共同生活援助	就労継続支援B型生活介護事業
施設名称	ひゞき	花みずき弐番館	ぶどうの森
管理者	大﨑雅子	小林徹士	嶋崎貴芳
定員	3名	4名	20名

(3)公益事業

施設種別	居宅介護支援事業所	計画相談支援事業所	サービス付き高齢者向け住宅
施設名称	あんどの里	ひゞき	あんどの里ありそ館
管理者	宮﨑美智子	相澤昌代	内山悟
居室数	—	—	19室

施設種別	有料老人ホーム	有料老人ホーム	有料老人ホーム
施設名称	花みずき	花みずき弐番館	花みずき参番館
管理者	長谷川久美子	清河明彦	清河明彦
居室数	21室	20室	21室

施設種別	福祉有償運送	福祉有償運送
施設名称	あんどの里	花みずき
管理者	椹木孝司	清河明彦
居室数	—	—

3 役員等の状況

(1) 定款上の定数　　① 理 事　7名　② 監 事　2名

(2) 役員等の名簿

役職名	氏名	職業
理事	大崎利明	(福)海望福祉会 理事長　株式会社丸八 相談役
	寺口憲雄	前・(福)海望福祉会 理事長代理
	伊東紀一	株式会社アイティオ 取締相談役
	元野清光	株式会社ニイカワ広告社 取締役
	殿村伸二	(公社)魚津法人会 専務理事
	大崎雅子	(福)海望福祉会 総合施設長
	清河明彦	(福)海望福祉会 富山事業部本部長
監事	本田百合子	アシステム税理士法人 代表社員税理士
	素野千昭	元・魚津市職員

4 理事会開催状況

開催年月日	出席者数	決議事項
第113回 理事会 R4.6.13	理事 6名 監事 2名	1. 定時評議員会の招集について 2. 令和3年度計算書類等について 3. 令和3年度事業報告について 4. 法人資産額変更登記について 5. ぶどうの森就労継続支援A型の廃止について 6. 運営規程の変更について 7. 就業規則の変更について 8. あんどの里ありそ館の借入について
第114回 理事会 R4.8.17	理事 6名 監事 2名	1. あんどの里本館外部改修工事について 2. ぶどうの森改修工事について 3. 令和4年度第1次収支補正予算案について 4. 就業規則の変更について
第115回 理事会 R4.9.7	理事 6名 監事 2名	1. あんどの里本館外部改修工事業者決定について
第116回 理事会 R5.2.7	理事 7名 監事 2名	1. あんどの里外壁修繕工事積立金の取崩しについて 2. 令和4年度第2次資金収支補正予算(案)について 3. 就業規則の変更について
第117回 理事会 R5.3.28	理事 7名 監事 2名	1. 令和4年度第3次資金収支補正予算(案)について 2. 令和5年度事業計画について 3. 令和5年度資金収支予算について 4. デイサービス花みずき弐番館の設置について 5. 運営規程の変更について

5 評議員会開催状況

(1) 定款上の定数　　① 評議員　8名

(2) 評議員の名簿

役職名	氏名	職業
評議員	髙倉孝雄	魚津神社 宮司
	寺田清	大道建設工業株式会社 代表取締役
	畠山寛禅	心連坊 住職
	伊藤甚宰	伊藤建設株式会社 代表取締役
	松木正夫	前・魚津商工会議所専務理事　元・魚津市副市長
	本元義明	道下公民館館長 道下地区振興協議会会長
	山浦晴美	魚津市教育委員会委員
	新夕佳子	前・大町幼稚園園長

(3) 評議員会

開催年月日	出席者数	決　議　事　項
第89回 評議員会 R4.6.28	評議員　6名 理事　2名 監事　2名	1. 令和3年度計算書類及び財産目録について 2. 令和3年度事業報告について 3. あんどの里ありそ館の借入について

6 監事の監査状況

	第1回	第2回
実施日	R4. 6. 1	R4. 10. 27
出席者	監事　2名	監事　2名
監査結果	指導事項なし	指導事項なし

7 寄付金の状況

(敬称略)

年　月　日	氏　　名	金　額
R4.6.28	髙倉　孝雄	9,694
R4.7.5	畠山　寛禅	20,000
R4.10.5	大﨑　雅子	1,000,000
R4.11.7	飛弾　克巳	100,000

(敬称略)

年　月　日	氏　　名	金　額
R4.12.13	髙瀬　しおり	200,000
R5.2.27	大﨑　雅子	100,000
R5.3.16	盛永　宏子	300,000

8 資格取得の状況

令和5年3月31日現在

資　格	人　数		計	左記のうち、 介護職員（121名）に占める有資格者の割合
	正職員	準職員		
介護福祉士	65	12	77	63.6%
社会福祉士	5	0	5	4.1%
介護支援専門員	5	1	6	5.0%
精神保健福祉士	1	0	1	0.8%
実務者研修	10	2	12	9.9%
ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰ2級	2	7	9	17.4%
介護職員 初任者研修	5	7	12	

9　研修等参加の状況

内　容
2022新入社員オンライン公開セミナー
令和4年度　観察の視点を活かした介護記録研修
食品衛生責任者研修会
技能実習指導員講習
令和4年度　認知症介護実践研修(実践者研修)
生活指導員講習
令和4年度　腰痛予防フォローアップ研修
令和4年度介護職部会Ⅰ
福祉有償運送運転者講習会
令和4年度　新任職員介護技術実践サポート研修(口腔ケア)
介護ロボット×Creative　～介護福祉士が想像する介護の未来～
令和4年度　腰痛予防研修
令和4年度　新任職員介護技術実践サポート研修(排泄ケア)
令和4年度　新任職員介護技術実践サポート研修(嚥下・食事コース)
令和4年度　腰痛予防指導者育成研修　基礎研修
令和4年度　新任介護職員フォローアップ研修(介護技術編)
令和4年度　就業支援基礎研修①②
令和4年度　富山県相談支援従事者初任者研修(全日程)
令和4年度　第1回富山県地域リハビリテーション従事者研修会 失語症がある人へのコミュニケーション支援
令和4年度　富山県災害派遣福祉チーム員登録研修
令和4年度　東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(富山大会)
令和4年度　腰痛予防指導者育成研修　フォローアップ研修
令和4年度　糖尿病・食支援連携従事者研修会
令和4年度　　リフトリーダー養成研修
令和4年度　介護福祉士実習指導者講習会

内　容
令和4年度　認知症介護実践リーダー研修
令和4年度　富山県ホームヘルパー協議会研修会(訪問看護との連携)
令和4年度　新川地区HACCP実践研修会
令和4年度　富山県サービス管理責任者実践研修
令和4年度　福祉スキルアップ研修会(Step0・障害編)初任者研修
令和4年度　がん患者の在宅療養支援事例検討会
令和4年度　富山消防署救命講習　普通救命Ⅰ
令和4年度　地域防災対応力強化研修
技能実習責任者講習
介護事業経営お役立ちセミナー
ケアマネジャー・薬剤師の相互理解と連携強化のための研修会
令和4年度　富山県社会福祉法人経営者協議会セミナー(後期)
令和4年度　新川ブロック老人福祉施設協議会研修会
令和4年度　障害者虐待防止マネジャー研修会
令和4年度　中堅職員研修
介護現場における在宅酸素をしている方を支援するときのポイント
ユニットリーダー研修実地研修
令和4年度　虐待防止・権利擁護研修
栄養管理・体液管理に役立つ病棟でも外来でもできるフィジカルアセスメント
令和4年度　富山市認知症ブロック研修会
新川障害者就業・生活支援センター研修会
令和4年度　認知症ケア研修(初級編)
令和4年度　認知症ケア研修(応用編)
障害福祉サービス等事業所感染症及び自然災害時におけるBCP策定・運用のポイント

研修受講者数(オンライン含む)	112名

【法人内研修】

日にち	内　容	人数（名）
4/1,4,5,6	新人研修	5
4/27	JAFによる交通安全啓発研修	15
7/25	手洗い・吐物処理研修(本館)	6
8/18	感染症対応研修(東館)	6
9/7	感染予防研修(本館)	11
11/24	褥瘡予防・看取り研修(本館)	4
12/6	高齢者虐待防止研修(本館)	11
2/27	身体拘束について	13
1/17	身体拘束について	13
3/2	看取り介護研修(本館)	15
3/2	手洗い・吐物処理研修(東館)	6
3/18	看取り介護研修(東館)	15
3/14,16,24	新人リハビリ研修「体位変換・ポジショニング」	6
3/27,29	新人リハビリ研修「介護骨折・腰痛予防」	5
6/2,7/6,8/9	福祉プロ養成研修　フェーズⅠ研修	9
5/17,6/24,7/26	福祉プロ養成研修　フェーズⅡ研修	11
3/13,14,16	福祉プロ養成研修　フォローアップ研修　*各事業所ごとに開催	－
3/15	福祉プロ養成研修　サブリーダー研修	24

≪福祉プロ養成研修の内容≫

【ﾌｪｰｽﾞⅠ】 ①チームケア実践スキル ②ご利用者・ご家族の満足度向上と効果的なコミュニケーション ③介護スキルの継承と介護リスクの洗い出し
【ﾌｪｰｽﾞⅡ】 ①ご家族・地域に対する伝達力向上技法 ②福祉サービスの課題解決技法Ⅰ ③福祉サービスの課題解決技法Ⅱ

10　実習等受入、講師・講演依頼

【実習等受入】

（名）

内　容	特養	あんどデイ	ひゞき	居宅	ありそ館	花みずき	弐番館	参番館
施設実習(短大、専門学校等)	1	0	2	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0	0

【講師依頼及び事例発表】

主催者及び依頼者	内　容	講　師
富山技術専門学院	講師「介護職員初任者研修　～介護の基本～」	居宅管理者、特養生活相談員
富山県立八尾高等学校	講師「マナー・接遇講座」	総合施設長
富山県内市町村社協職員連絡協議会	講師「社会福祉法人としての地域共生社会への取組み」	総合施設長

11 災害事故防止対策

1 防災意識の高揚

(1) 日常の防災及び事故防止の意識向上を図るため、職員の教育・訓練の徹底に努める。
(2) 利用者の重度化に伴い、安全確保対策に万全を期す。
(3) 災害や火災の状況を適切に把握し、避難誘導・消火等に対応できる体制を整備すると共に、福祉避難所の指定により、地域住民との連携をより一層推進する。

2 防火設備等の状況

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (2ヶ所)
	避難口 (非常口)	有	有 (10ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有 (防炎素材使用)
	防火戸・防火シャッター	有	有 (5ヶ所)
消防用設備	屋内消火栓設備	有	有 (8ヶ所)
	消火器	有	有 (本館19・東館10・屋外3)
	スプリンクラー専用送水口	有	有 (屋外1ヶ所)
	スプリンクラー設備	有	有
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	有	有
	非常警報設備	有	有
	避難器具(救助袋)	有	有 (1ヶ所)
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (54ヶ所)
	防火用水	有	有
	非常電源設備	有	有
カーテン・布製ブラインド等の防炎性能		有	有

3 消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の変更・届出 令和4年1月21日	防火管理者	大﨑 雅子

4 各種防火訓練等の実施状況

実施年月日		消防署届出	立会者	記録
R4.9.1	富山県シェイクアウト訓練	—	防災委員	有
R4.10.12	総合防災訓練	有	防災委員	有
R4.11.2	魚津市シェイクアウト訓練	—	防災委員	有
R5.1.27	あんどの里デイサービスセンター	有	防災委員	有
R5.2.15	特養東館	有	防災委員	有
R5.2.17	ひゞき	有	防災委員	有
R5.2.24	特養本館	有	防災委員	有

5 緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システム 有	職員等緊急連絡網の整備 有

6 防災設備等の保守点検の状況

業者による点検	点検事項	点検回数	点検者
	消防用設備点検	年2回	ユウホー設備株式会社
	電気設備点検	年6回	一般財団法人 北陸電気保安協会
自主点検	点検事項	点検回数	点検者
	消防用設備	年4回	防火管理者・庶務係
	建築設備 (防火戸も含む)	月1回	防火管理者・施設隊長
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者・庶務係

12 地域における公益的な取り組み ～ユニバーサル就労～

◎◎ユニバーサル就労とは◎◎

「ユニバーサル就労」とは、生活困窮者や障害者、あるいは、病気等によって、就労意欲はあるが働きづらい状況にある方など、社会的支援が必要な人たちに、中間的就労（当法人の雇用による収入と生活保護費により、中間的自立を進める）や社会参画の機会を提供する取り組みです。

平成17年からの取り組みを実績として、平成 25 年度には魚津市の委託を受け、さらに自立支援プログラム推進事業をスタートしました。自立支援プログラム推進事業は、生活保護受給者などに、就労の機会を提供しながら、当法人での雇用を進め、地域社会の一員としての社会的自立や健康回復などをめざす自立支援事業です。そして、それらの事業は、平成 29 年 5 月に、生活困窮者就労訓練事業所として、富山県から認定を受けました。

1. 令和4年度の事業実績

(1) 令和 4 年度中のユニバーサル就労者人数 17 名

(2) 主な経費や財源の内訳 （単位；円）

主な経費	金 額
給与・謝金 （17 名）	26,284,968
社会保険料	3,862,403
退職金制度掛金	321,778
制服代	103,121
合 計	30,572,270

主な財源	金 額
委託費（魚津市自立支援プログラム推進事業）	288,000
法人財源	30,284,270
合 計	30,572,270

［ 事例 ］

無収入・ニートであった方に、平成 28 年 6 月から就労支援を行い、ボランティア、有償ボランティアの期間を経て、令和 2 年 6 月から非常勤職員として法人雇用しました。現在、その方は自立して生活されています。

2. ユニバーサル就労の実施内容

「ユニバーサル就労」では、障害者や生活保護受給者および生活困窮者に対し、中間的就労から経済的自立まで、一人ひとりに合わせて目標を設定しています。

本人の希望でいくつかの仕事を選択し、その方の状況に応じて、ボランティア、実費弁償程度での活動参加、中間的就労、雇用（最低賃金保障）、一般賃金（有資格者）へと段階を踏んで進めていきます。

本人の希望を聞きながら、仕事内容と就労時間、日数などを決め、その後は法人職員が挨拶や心構え、職業倫理、業務手順などについて細やかな育成指導を行っています。

就労の頻度は、週 1 回 2 時間程度のボランティアから、週 5 回 8 時間勤務まで、職務形態は様々です。

主な仕事の内容	
介護助手（資格取得者 3 名）	車椅子磨き、タイヤの空気入れ
レクリエーション補助	清掃（浴室、居室など）
畑仕事	〃 （草むしりなど環境整備）
シーツ交換	窓ガラスふき
厨房での食材の切り込みや食器洗浄	池の掃除

3. ユニバーサル就労の実績

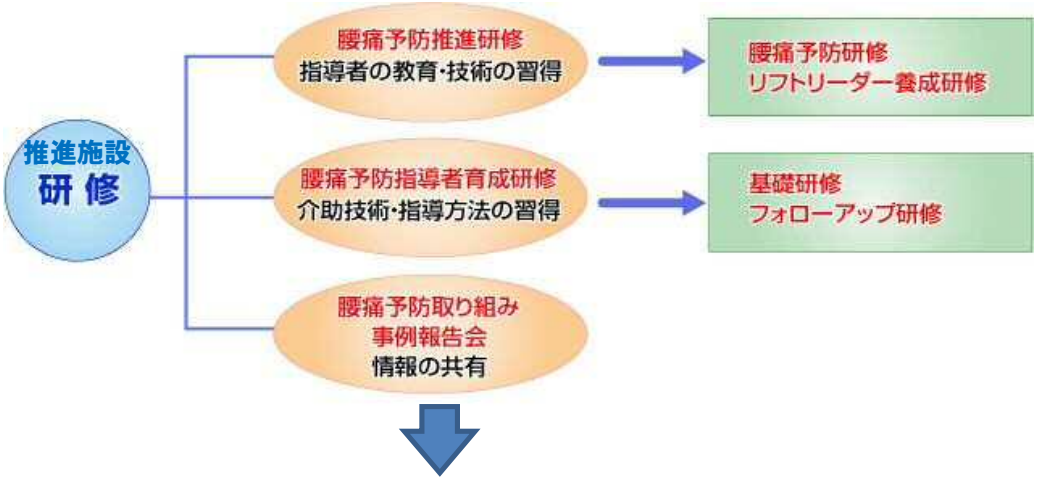
平成 17 年の取り組み開始から、障害者雇用を含め合計 52 名に就労支援を行い、一人ひとりの生活や能力に応じた働き方で、令和 5 年 3 月末現在では 17 名が就労中です。

13 腰痛予防対策

富山県介護実習・普及センターは、福祉・介護機器を適切に活用することで、利用者自身の自立を引き出し、介護職員の身体に負担の少ない介護技術の普及・定着を図る「腰痛予防対策推進事業」を進めています。

これらに積極的に取り組む施設を腰痛予防対策推進福祉施設（以下、推進施設）に指定し、県内施設への普及の拠点としています。

特別養護老人ホームあんどの里は、平成29年に推進施設の指定を受け、研修参加や他施設からの研修生の受け入れを促進しています。



あんどの里

・腰痛予防の視点を取り入れた介護マニュアルの作成・見直し・評価
・研修受講計画立案・評価　　・職員に対するアンケート実施
・職場内研修の開催　　・利用者・介護者双方にとって安心・安全・快適な介護技術の普及
・他施設の職員を受け入れた介護研修の実施

令和4年度 腰痛予防対策推進施設　目標管理達成シート

【組織目標】主題：日々の腰痛予防の積み重ねにより、ご利用者・職員、双方にとって安心かつ安全な介助法を ●ベッドの高さ調整や作業姿勢等の基本的な腰痛予防対策と各対策のフィードバックの徹底 ●リスクマネジメントの徹底（無理のない安全な介助の提供＝介助作業中の事故が発生しない）		
施設名：あんどの里	施設長：　大﨑 雅子	作成者：腰痛予防対策委員会
中間評価日：　令和4年10月11日	最終評価日：令和5年3月16日	

A:計画通りに実施できた　B:計画より遅れたが、年度内に実施できた　C:年度内に実施できなかった

活動項目 （立案時の活動項目）	中間評価（9月）		最終評価（3月）	
	進捗度	成果又は課題（具体的に）	進捗度	成果又は課題（具体的に）
1.腰痛予防関連の研修参加	B	【結果・成果】 ・本館・東館より職員2名が、基礎研修からフォローアップ研修までの受講・修了を予定していたが、このうち1名が都合により途中で受講を取りやめた。 ・リフトリーダー研修は、当施設の新型コロナ感染対策により、昨年度受講を見合わた職員2名と、今年度指導者育成研修を修了した職員の計3名が参加し、リフトインストラクター初級として修了することができた。 リフト移乗の対象者や各スリングシートの特徴、または安全面の配慮等、再認識できたとのこと。 ・リフトリーダー研修修了後、東館職員1名を新たに介助法・福祉用具別研修の指導者として増員した。 【対策】 ・全ての研修を確実に修了できるよう適切な人選をし、事前に施設内で研修の意義等、オリエンテーションを実施する。	B	【結果・成果】 ・10/22開催の「令和4年度腰痛予防対策取組み事例報告会」に、本館・東館から各1名とPT1名がオンラインにより参加した。 特別講演では、今後予想される介護人材不足に対し介護ロボット・ICTの導入活用が必須であること、導入・活用に至る組織全体の合意形成と役割分担、導入計画の重要性、現場のモチベーションを保つための小さな成功事例の積み重ねの重要性まで、具体例を示しながら解説され、改めて今後の腰痛予防対策として介護ロボット等の福祉用具の導入や取り組み継続の意義を再認識することができた。 【課題】 ・介護ロボット活用推進研修は、業務の都合上、各部署ともに参加には至らなかった。 【対策】 ・腰痛予防研修から介護ロボット等導入・活用シリーズ研修に至るまで、各部署の腰痛予防対策委員のメンバーから参加職員を人選し、組織全体の合意形成を強化する。

活動項目 （立案時の活動項目）	中間評価（9月）		最終評価（3月）	
	進捗度	成果又は課題（具体的に）	進捗度	成果又は課題（具体的に）
2.腰痛予防対策推進福祉施設の支援、指定	A	【結果・成果】 ・会議に関しては、オンラインにて出席し、議事録を提出した。 ・期限内に目標管理達成シートを提出した。 ・3か月毎に発行される施設広報誌で、腰痛予防対策に関する福祉用具を紹介した。 ・企業説明会では、リフターやスタンディングリフターの使用法や介護職員の負担軽減の取り組みを説明した。	B	【課題】 ・推進福祉施設としての指定継続要件は満たしているものの、慢性的な職員不足や、感染対策上、腰痛予防推進事業の指導アシスタントの派遣協力までには至っていないのが現状である。 【対策】 ・来年度、新型コロナの感染動向や職員の状況にもよるが、できるだけ派遣協力できるよう対応したい。
3.施設内研修の開催　兼、各職員の使用状況のチェック	B	【結果・成果】 ・福祉用具別研修・テストの期間が、新型コロナ感染対策のため、予定より遅れがあったものの、予め設けていた予備月内で対応することできた。 ・昨年度の7月に発生した昼食時の移乗介助における骨折事故以降、外傷に及ぶような事故は発生していない。 ・福祉用具別研修・テストの行程管理を担当する行程管理責任者を設け、各指導者がどの職員を指導するか担当を決めるプリセプターチャートを作成した。 (参考資料1) 【課題・対策】 ・10月以降の福祉用具別研修・テストでは、新たに2名の職員が指導者側に加わる予定であったが、急遽1名のみとなったため、後期のプリセプターチャートの修正が必要である。	C	【結果・成果】 ・福祉用具別研修・テストにおいては、プリセプターチャートをもとに各指導職員が担当職員に実施したものの、途中、感染対策期間に入り、本館では1品目、東館では2品目を修了した時点でそれ以降の予定が滞ってしまった。 【課題】 ・後期の半ばで急遽、新型コロナ感染対策期間に入ったことや、感染対策解除後も通常業務に戻すための行程の影響もあり、福祉用具別研修・テストを全て実施することができなかった。 【対策】 ・感染対策により研修・テストの実施が滞ることも想定し、開始月以降は、実施月を設けず、順次、福祉用別研修・テストを実施していく。
4.移乗介助アセスメントフローチャート、福祉用具別チェックシート、福祉用具別動画マニュアルの見直し	B	【結果・成果】 ・アセスメントフローチャートに則した適合率は以下の通り。 本館　84.6%　東館 82.14% 特養全体　83.75% 前期の目標値である75%以上はクリアした。しかし、これを離床率を兼ねた適合率で算出すると、本館が71.0%、東館が72.5%、特養全体では71.5%となった。 【課題】 ・不適合な移乗方法の内容としては、スライディングボードによる2人介助が適したご利用者に対し、1人介助で対応しているケースの割合が依然多い。 ・新型コロナ感染対策の影響による職員不足により、離床が可能なご利用者の離床誘導を制限する場合もあり、離床率を兼ねた適合率の低下が顕著であった。 【対策】 ・離床率の改善および作業負担を軽減するため、離床支援マルチポジションベッドの導入に向け、県の介護ロボットの助成事業に申請した。	B	【結果・成果】 ・アセスメントフローチャートに則した後期の適合率は以下の通り。 本館　79.16%　　東館　76.66% 特養全体　78.2% 前期の83.75%と比べ低下し、後期の目標値である80%以上はクリアできなかった。 また、これを離床率を兼ねた適合率においても、本館が70.74%、東館が63.23%、特養全体では67.81%となり、前期の71.5%と比べ低下した。 【課題】 ・不適合な移乗方法の内容としては、前回と同様、スライディングボードによる2人介助が適したご利用者に対し、1人介助で対応しているケースの割合が多く、その割合も前回と比べ後期がより大きくなった。 感染対策の影響による職員不足や、ご利用者の居室待機対応により離床回数の頻度が減少したことも要因の一つと考えられる。 【対策】 ・離床率の改善に関しては、とくに感染対策期間中の職員不足の状況でもできるだけ離床の機会を設けるため、前期同様、離床支援マルチポジションの導入を進める。

活動項目 （立案時の活動項目）	中間評価（9月）		最終評価（3月）	
	進捗度	成果又は課題（具体的に）	進捗度	成果又は課題（具体的に）
5.腰痛実態調査	B	【結果・成果】 ・新人職員2名に対し調査。 本館　女性（22歳） 腰痛の有無：有 介助作業中の最も強い痛み：4/10 平均:2/10 東館　女性（23歳） 腰痛の有無：無 【課題】 ・本館新人職員の腰痛は、主に移乗介助時とオムツ交換時に感じるとのこと。入職当初は、移乗介助やパッド交換時にアシストスーツ（ダーウィンハコベルテ）を装着していたが、夏季になり、蒸れや感染対策時のガウン装着を理由に、装着を怠りがちになっていたことが原因の一つと考えられる。 【対策】 ・移乗介助時や体位変換ポジショニング時、パッド交換時など、本館では連続作業になりやすいことから、特に腰痛保有者を優先的にベッドの高さ調整と共にアシストスーツの装着を進める。	A	【結果・成果】 ・腰痛保有者の割合は、前年と比べほとんど変わりないものの、NRS(※1）の指標においては、今年度は最も強い痛みの平均が4.12、痛みの平均レベルが2.78と前年度の最も強い痛みの平均が4.57、痛みの平均レベルが3.24と比べ有意に軽減することができた。 この理由としては、腰痛予防対策として年々福祉用具の導入・活用が高まり標準化してきたことが考えられる。 （※1）NRS（Numerical Rating Scale） ・・・痛みを数字で評価するための指標 【課題・対策】 ・活動項目4でも記載した通り、感染対策期間中、ご利用者の居室待機対応により移乗回数の頻度が減少したことも要因の一つと考えられる。 本来は、主に毎食時離床して食事を召し上がっていただくことが、自立支援、機能・能力維持目的でも基本的なケアであることから、感染対策期間中も基本的な介護サービスの内容や質の低下を招かないよう活用できる介護ロボット等の導入（マルチポジションベッド等）を進めていく必要がある。 ・腰痛予防実態調査アンケート結果のフィードバックは後日報告予定。
6.委員会会議活動の継続	A	【結果・成果】 ・昨年同様、新型コロナ感染対策上、委員一同が揃って開催することが難しく、個別に対応しフィードバックした。 【課題】 ・福祉用具別研修・テストの打ち合わせに関しては、PT1名が各委員に研修指導しているが、双方のスケジュールが合わず、業務時間外で対応する場合が多かった。 【対策】 ・必要に応じて、福祉用具別研修・テストの指導ポイントやテスト合否の基準についての説明動画を作成し、各指導者間で閲覧する。	B	【結果・成果】 ・前期同様、感染対策により職員が一堂に会しての委員会が実施できないことがあり、指導のポイントやテスト合否の基準について、タブレットによる動画作成・閲覧にて対応した。
7.福祉用具の管理	B	【結果・成果】 ・福祉用具の故障・不具合による介助事故はなかった。 ・離床支援介護ロボットのマルチポジションベッドの導入に向け、補助金の申請を行った。 【課題・対策】 ・メンテナンスチェックシートによる福祉用具の点検では、実施できていない月もあったことから、月ごとに担当となる職員に声掛けする。	B	【結果・成果】 ・前期同様、福祉用具の故障や不具合による介助事故は認められなかった。 ・補助金の申請を行った離床支援介護ロボットのマルチポジションベッドの導入に関しては、活動項目4でも上記したように、申請は受理されなかった。理由としては離床を支援するものではあるが、ご利用者や介助者の動きや状態を感知するようなセンサー類が付いていないためとのこと。 【課題・対策】 ・メンテナンスチェックシートによる福祉用具の点検では、実施できていない月が生じていたことから、引き続き、月ごとに担当となる職員への声掛けは継続する必要がある。

～使用している福祉用具及び機器～
スライディングボード、ロールボード、フレックスボード、回転盤（ハードタイプ・ソフトタイプ）
床走行式リフター、据え置き式リフター（2点タイプ・3点タイプ）、スタンディングリフター
アシストスーツ、介助用グローブ、スライディングシート

14 各会議

◆◆ チーフ会議 ◆◆

主 旨	毎月１回、施設長をはじめ、法人各事業所の責任者（マネジメント層）や各種専門職が出席し、前月の事業活動収支、各種報告・連絡事項などの情報を共有することや、意見交換、また、職員の福利厚生等に関する各種決議案について検討することなどを目的としている。 また、いま法人ではどのようなことが行われているか、どのようなことを計画しているのかなど、法人の現状への理解を深める場でもある。
出席者	施設長、事務長、事務課長、各部署責任者、居宅系事業所管理者、看護職員、理学療法士、管理栄養士等

【開催日】

４月	4/26	１０月	10/27
５月	5/30	１１月	11/24
６月	6/29	１２月	－
７月	7/27	１月	1/26
８月	－	２月	2/27
９月	9/28	３月	3/30

◆◆ 職員会議 ◆◆

主 旨	毎月１回、施設長をはじめ、法人各事業所の職員が、前月の事業活動収支、各種報告・連絡事項などの情報を共有することや、職員同士の意見交換などを目的としている。 また、いま法人ではどのようなことが行われているか、どのようなことを計画しているのかなど、法人の現状への理解を深める場でもある。
出席者	各事業所職員（チーフ会議出席者以外）

【開催日】

４月	4/27	１０月	10/28
５月	5/31	１１月	11/25
６月	6/30	１２月	－
７月	7/28	１月	1/27
８月	－	２月	2/28
９月	9/29	３月	3/31

15 各委員会

◆◆業務改善委員会　ターミナルケア小委員会◆◆

委員会構成メンバー；施設長、看護職、介護主任、介護職、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士

主　旨	新人職員および業務経験の浅い介護職員を対象に、看取りに至るまでのご利用者の経過やケア等について、講義及び質疑応答を通して学ぶ機会とする。		
第１回	3/2	第２回	3/18

◆◆　感染予防委員会　◆◆

委員会構成メンバー；施設長、法人事務局、主任・管理者、看護職、介護職、生活相談員、管理栄養士

主　旨	法人内各事業所の看護職員を中心に、新型コロナウイルス感染対策について検討する。		
４月	4/19	１０月	10/11
５月	5/10	１１月	11/8
６月	6/14	１２月	12/13
７月	7/12	１月	1/10
８月	―	２月	2/14
９月	9/13	３月	3/22

◆◆　褥瘡予防委員会　◆◆

委員会構成メンバー；施設長、看護職、介護主任、介護職、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士

主　旨	褥瘡の高リスク者、初期症状発症者の有無を確認し、多職種協働によるアプローチからチームケアを行うことによって、褥瘡の発生を予防する。褥瘡が発生した場合には、嘱託医や医療機関と密接に連携し、早期治癒に努める。				
開催月	本館	東館	開催月	本館	東館
４月	4/28	4/15	１０月	10/25	10/8
５月	5/27	5/17	１１月	11/29	11/12
６月	6/30	6/17	１２月	―	12/9
７月	8/8	7/14	１月	―	1/23
８月	8/30	8/17	２月	2/24	2/6
９月	9/30	9/10	３月	3/29	3/13

◆◆　リスクマネジメント委員会　◆◆

委員会構成メンバー；施設長、看護職、介護主任、介護職、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士

主　旨	より質の高いサービスを提供することを目的として、介護事故の防止に努め、そのために必要な体制を整備するとともに、ご利用者一人ひとりに着目した個別サービスの提供を徹底し、組織全体で介護事故の防止に取り組む。				
開催月	本館	東館	開催月	本館	東館
４月	4/28	―	１０月	10/31	10/6
５月	5/27	5/4	１１月	11/30	11/2
６月	6/27	6/2	１２月	―	12/7
７月	7/29	7/1	１月	1/31	1/4
８月	8/30	8/5	２月	2/28	2/1
９月	9/28	9/2	３月	―	3/1

特別養護老人ホーム あんどの里

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区 分	理事長代理	施設長	医師	生活相談員	介護支援専門員	看護職	機能訓練指導員	介護職	栄養士	事務職	宿直員	夜間巡回	営繕清掃	計(名)
正職員	－	1	－	1	1	5	1+兼1	32+兼1	兼2	1+兼4	－	－	兼1	42+兼9
準職員	－	－	3	－	－	－	－	13	－	1+兼1	－	－	5	22+兼1
委 託	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	3	2	8
（計）	0	1	3	1	1	5	1+兼1	45+兼1	兼2	2+兼5	3	3	7+兼1	72+兼10

【業務委託】　宿直・営繕・清掃　公益社団法人 魚津市シルバー人材センター
【業務委託】　給食　日清医療食品株式会社
【協力医療機関】富山ろうさい病院、みのう医科歯科クリニック

2 介護福祉施設収入

（単位：円）

年度	延べ入所者数	介護報酬収益	利用者負担金	介護福祉施設サービス費	利用者負担金（介護保険適用外）	居住費	食 費	合 計
2	28,750	282,984,904	33,334,236	840,620	85,195	37,998,452	41,088,336	396,331,743
3	28,726	283,968,684	33,478,366	1,011,720	85,360	37,773,806	42,438,585	398,756,521
4	28,690	284,441,608	34,053,642	1,147,000	81,510	37,671,911	43,840,535	401,236,206

【1日あたり介護報酬算定入所者数】　78.6名（定員80名）

3 空床型短期生活介護施設事業収入

【1】ショートステイ　（単位：円）

年度	延べ利用者数	介護報酬収益	利用者負担金	介護福祉施設サービス費	利用者負担金（介護保険適用外）	滞在費	食 費	合 計
2	159	1,272,331	145,624	0	20,175	172,144	187,849	1,798,123
3	309	2,496,096	297,204	0	0	374,158	441,048	3,608,506
4	280	1,787,527	466,390	0	0	344,528	413,075	3,011,520

【2】ミドルステイ　（単位：円）

年度	延べ利用者数	介護報酬収益	利用者負担金	介護福祉施設サービス費	利用者負担金（介護保険適用外）	滞在費	食 費	合 計
4	41	232,479	30,711	0	0	33,795	59,495	356,480

4 空床型短期入所利用状況

【1】ショートステイ　令和5年3月31日現在

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	（計）	ひと月あたり平均利用人数
延べ利用人数	7	21	10	33	23	26	18	22	13	7	29	71	280	23.3 名

【2】ミドルステイ　令和5年3月31日現在

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	（計）	ひと月あたり平均利用人数
延べ利用人数	0	0	0	5	13	12	6	0	0	0	0	5	41	3.4 名

5 入退所者等の状況

令和5年3月31日現在

月	本体施設									入退所の状況							
											施設退所者実人数						
	定員×暦数（A）	空床延べ人数（欠員）（B）	延べ施設入所者人数（C）＝(A)-(B)	延べ入院者数（D）	外泊（D'）	一時的活用者延べ人数（E）	ショートステイ等利用	延べ施設入所者人数（F）＝C-D-D'+E	暦数（G）	平均入所者数（H）＝F÷G	新規入所者実人数	家庭復帰	在宅復帰	医療機関搬送	他施設へ転出	死亡	その他	（計）
	名	名	名	名	名	名	名	日	名	名	名	名	名	名	名	名	名
4	2,400	7	2,393	7	0	7	2,393	30	79.8	2	0	0	1	0	1	0	2
5	2,480	16	2,464	34	0	21	2,451	31	79.1	4	0	0	2	0	2	0	4
6	2,400	5	2,395	8	0	10	2,397	30	79.9	1	0	0	1	0	1	0	2
7	2,480	30	2,450	26	0	38	2,462	31	79.4	4	0	0	1	0	2	0	3
8	2,480	8	2,472	4	0	36	2,504	31	80.8	0	0	0	0	0	1	0	1
9	2,400	37	2,363	0	0	38	2,401	30	80.0	5	0	0	0	0	4	0	4
10	2,480	17	2,463	3	0	24	2,484	31	80.1	2	0	0	0	0	2	0	2
11	2,400	26	2,374	30	0	22	2,366	30	78.9	3	0	0	0	0	3	0	3
12	2,480	9	2,471	15	0	13	2,469	31	79.7	2	0	0	0	0	2	0	2
1	2,480	70	2,410	13	0	7	2,404	31	77.6	3	0	0	0	0	5	0	5
2	2,240	24	2,216	48	0	29	2,197	28	78.5	3	0	0	1	0	0	0	1
3	2,480	34	2,446	39	0	76	2,483	31	80.1	2	0	0	2	0	1	0	3
（計）	29,200	283	28,917	227	0	321	29,011	365	79.5	31	0	0	8	0	24	0	32

6 入所者の状況

(1)入所者の年齢構成等

令和5年3月31日現在

性別＼年齢	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	(計)	年齢(歳) 最高	最低	平均
男性(名)	1	0	0	0	1	4	5	3	1	0	15	96	56	84.5
女性(名)	0	0	2	5	4	9	18	15	10	1	64	101	67	87.5
(計)	1	0	2	5	5	13	23	18	11	1	79			86.9

(2)在所期間の状況

令和5年3月31日現在

性別＼期間	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上	(計)
男性(名)	6	2	2	4	0	0	14
女性(名)	17	23	11	10	3	1	65
(計)	23	25	13	14	3	1	79

(3)日常生活の状況

ア. 障害老人の日常生活自立度

令和5年3月31日現在

区分	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	(計)
本館(名)	0	0	0	0	2	13	16	8	10	49
東館(名)	0	0	1	0	6	1	6	7	9	30
(計)	0	0	1	0	8	14	22	15	19	79

イ. 認知症老人の日常生活自立度

令和5年3月31日現在

区分	自立	Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	(計)
本館(名)	0	6	3	3	17	3	16	1	49
東館(名)	0	0	1	0	9	7	13	0	30
(計)	0	6	4	3	26	10	29	1	79

ウ. 要介護度

令和5年3月31日現在

区分	1	2	3	4	5	(計)	平均要介護度
本館(名)	0	0	3	24	22	49	4.4
東館(名)	0	0	0	9	21	30	4.7
(計)	0	0	3	33	43	79	4.5

※障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1.交通機関等を利用して外出する　2.隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1.介助により外出し、日中は殆どベッドから離れて生活する　2.外出の頻度が少なく、日中も寝たきりの生活をしている
寝たきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1.車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う　2.介助により車椅子に移乗する
	ランクC	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する 1.自力で寝返りをうつ　2.自力で寝返りもうたない

※認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判定基準
Ⅰ	＊何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
Ⅱ	＊日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる
Ⅱa	＊家庭外で上記Ⅱの状態が見られる
Ⅱb	＊家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる(服薬管理、電話や訪問者の応対などができない
Ⅲ	＊日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
Ⅲa	＊日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる
Ⅲb	＊夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる
Ⅳ	＊日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
Ⅴ	＊著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

7 入所者の健康診断実施状況

実施年月日	実施人数	検査項目	検査結果	検査機関
令和4年9月21日	28名	胸部レントゲン・心電図・採血	要受診 27名	一般財団法人北陸予防医学協会
令和4年9月6日	45名	胸部レントゲン・心電図・採血	要受診 42名	一般財団法人北陸予防医学協会

※要受診・・・嘱託医への確認を要する方の数

8 入所者の入院状況

内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間（計）
本館	実人数（名）	1	2	0	1	1	0	1	1	2	2	4	4	
	入院延べ日数（日）	7	12	0	13	4	0	3	30	15	13	48	39	184
東館	実人数（名）	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	入院延べ日数（日）	0	22	8	13	0	0	0	0	0	0	0	0	43
（計）	実人数（名）	1	3	2	2	1	0	1	1	2	2	4	4	
	入院延べ日数（日）	7	34	8	26	4	0	3	30	15	13	48	39	227

9 看取り介護実施者数

内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間（計）
本館	男　性（名）	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	4
	女　性（名）	0	1	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	7
東館	男　性（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女　性（名）	0	1	1	0	0	2	2	3	1	1	0	1	12
（計）	男　性（名）	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	5
	女　性（名）	0	2	1	2	0	2	2	3	1	5	0	1	19

10 感染症予防対策

(1) 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、ノロウイルス、MRSA、結核、疥癬等の予防対策及びその実施状況

予　防　対　策	実　施　状　況
手洗い、うがい	【実施対象者】全職員、入所者、デイサービス利用者、来訪者、業者
ゴム手袋、マスクの着用	【実施対象者】介護業務中の全職員
マスク着用、手指消毒、うがい	【実施対象者】全職員、来訪者、業者
消毒、殺菌液剤の使用による衛生管理	クロムヘキシジン、エタノール、ベンザルコニウム塩化物液、ヒビテン、次亜塩素酸(ミルトン、ピューラックス)、プリジアプロ、A2ケアによる消毒と殺菌を実施
面会制限	1年を通して面会制限を実施
予防接種	11月から入所者、全職員にインフルエンザ予防接種実施
勉強会の実施	全職員を対象とした施設内研修、勉強会を実施 ① 手洗い研修 ② ノロウイルス対策・汚物等の処理方法について実技実習
温度、湿度の管理と換気	空調設備で温度は自動に設定し調整。加湿器をフロアと居室に設置し、湿度を調整。また、定期的に窓を開け、外気を入れて換気を行う
体調不良者の個室管理	体調不良者が発生した場合、個室または静養室で静養していただき、経過記録と状態管理を行う

(2) レジオネラ属菌等の感染防止対策の状況

区　分	浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	末端給湯栓温度	清掃回数	レジオネラ属菌検査		貯湯タンクの清掃実施年月日
					検査実施年月日	検査結果	
浴　槽	循環式	測定記録あり		週6回	令和4年12月8日	指摘事項なし	
給湯設備	貯湯タンク		60℃	年1回			令和4年10月18日

11 機能訓練月別実施内訳

（延べ実施回数:a～l）

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	（計）
① 介助歩行訓練	59	54	56	45	58	43	51	38	36	1	31	67	539
② 基本姿勢・動作訓練	65	73	31	48	43	46	36	42	8	2	10	59	463
③ 起立訓練	72	65	72	62	70	61	74	54	48	0	45	86	709
④ 移乗訓練	75	74	72	68	81	65	74	60	57	6	57	113	802
⑤ 関節可動域訓練	82	87	81	71	67	74	73	39	44	3	44	129	794
⑥ 筋力訓練	26	25	27	23	24	19	28	19	12	0	18	97	318
⑦ 体位交換・座位ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞﾏﾆｭｱﾙ作成・修正	15	29	13	21	17	17	25	13	9	2	4	27	192
⑧ リハビリ介助方法指導	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
⑨ 車椅子駆動訓練	19	15	22	23	24	20	19	21	12	0	12	36	223
⑩ 評価(新規・定期評価)	79	76	31	71	74	66	51	61	27	12	25	79	652
⑪ 補装具調整・申請	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0	1	3月	7
⑫ ｺﾒﾝﾄ作成（ｹｱﾌﾟﾗﾝ、暫定ﾌﾟﾗﾝ、機能訓練加算）	65	69	23	60	66	62	43	47	25	4	5	40	509
ﾘﾊﾋﾞﾘ実施・ｺﾒﾝﾄ作成対象利用者延べ人数	557	567	429	494	526	474	475	395	278	30	252	733	5,210
内部研修実施数（ﾘﾊﾋﾞﾘ小委員会による）	0	0	11	31	9	18	16	17	4	2	1	8	117

(注)各項目の訓練・評価内容

a:手引き・杖・歩行器・シルバーカー歩行、平行棒内歩行

c:寝返り・起き上がり・座位訓練

d:手引き、手すり把持、平行棒把持

e:車椅子⇔ベッド間、車椅子⇔便座間、方向転換⇒着座動作

12 機能訓練別対象者数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	（計）
① 介助歩行訓練	16	15	13	13	16	13	14	12	13	1	8	12	146
② 基本姿勢・動作訓練	46	49	13	30	24	24	17	40	5	2	7	27	284
③ 起立訓練	21	15	16	17	14	19	18	16	19	0	14	21	190
④ 移乗訓練	20	24	17	19	28	22	16	21	20	4	19	34	244
⑤ 関節可動域訓練	18	17	16	15	17	15	14	12	11	3	13	22	173
⑥ 筋力訓練	7	6	4	3	4	4	4	4	4	0	4	16	60
⑦ 車椅子駆動訓練	5	6	7	6	8	8	7	6	6	0	4	7	70
（計）	133	132	86	103	111	105	90	111	78	10	69	139	1,167

※1名につき、2種目以上の実施あり

13 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職 名 総合施設長	職 名 生活相談員	評議員 松木 正夫 監事 素野 千昭	0件	0件	0件	無

14 栄養ケア・マネジメント

令和5年3月31日現在

【1】(1) 給食に関する基本方針等

健康維持と生活の質の向上に食事の果たす役割は大きい。
低栄養の予防・改善を目標に、入所者お一人おひとりにあった栄養ケア・マネジメントを行い、
体調が安定した状態で生活できるように支援していく。
また、安全な食事提供を行うことができるよう、食中毒の予防に徹する。
入所者の皆様に楽しみとおいしさ、心身ともに豊かさを保てるような「食」を提供できるよう努める。

(2) 栄養量等の状況

項目 / 内訳	エネルギー (Kcal)	たんぱく質 (g)	ビタミンC (mg)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	食塩相当量 (g)
本施設の栄養基準量	1,650	60	85	600	10.0	7.0
基準月の１日あたりの平均栄養量	1,640	60.8	84	732	8.7	7.0

(3) 食事摂取の方法

経口摂取			経管栄養	静脈栄養	合計
常食	やわらか食	嚥下食			
6 名	40 名	31 名	3 名	0 名	80 名

(4) 医師の食事せんに基づく特別食の提供状況

経管栄養のための濃厚流動食提供者数	療養食提供者数	特別な場合の検査食提供者数
3 名	21 名	0 名

(5) 食事の提供時間

朝食	昼食	夕食
7:40 ～ 8:15	12:00 ～ 12:45	17:30 ～ 18:15

(6) 栄養管理委員会開催状況

回数	構成メンバー	内容
月1回実施、記録 (有)・無	管理栄養士、介護職員、看護職員	ご利用者の栄養状態、給食内容等

(7) 嗜好調査・残食(菜)調査の実施状況

嗜好調査の実施状況	年1回実施、記録 (有)・無(方法:職員による聞き取り)
残食（菜）調査の実施状況	実施頻度 (毎食)・定期(具体的に:)・不定期) 記録 (有)・無

(8) 検食の実施状況

区分	検食時刻	検査者職名及び検食者数		記録の有無
朝食	7:20	宿直者	計1名	有
昼食	11:50	看護職員、管理栄養士、介護職員のうちいずれかの者	計1名	有
夕食	17:20	宿直者	計1名	有

(9) 厚生センターの立入検査の状況

実施年月日	主な指摘・指導等の内容	左記に対する対応
令和4年11月4日	異物混入防止の為、調理室内の掲示は最小限としラミネート加工や大きなマグネットを用いるようにする	時間がたった掲示物は破棄し、必要な掲示物にはラミネート加工を施した。

(10) 給食の運営方法

委託先事業者名	日清医療食品株式会社
委託内容	食事サービス提供業務

＊(1)(2)(5)(6)(7)(9)(10)は障害者支援施設ひゞきと同じ

【2】 栄養ケア・マネジメント

(1) 食事形態状況

令和5年3月31日現在

経口摂取						経管栄養（胃ろう）
主食			副食			
米飯	4	名	常食	6	名	3 名
軟飯	12	名	やわらか食	40	名	
粥	36	名	嚥下食	31	名	
ミキサー粥	25	名				
計	77	名	計	77	名	

【常食】
噛む力、飲み込む力に問題のない方への食事

【やわらか食】
やわらかく煮込んだ食事

【嚥下食】
ムース状の食事

(2) 対象者の状況

令和5年3月31日現在

給与栄養目標量（kcal）	男性	女性
1800 kcal 程度	－	2 名
1600 kcal 程度	2 名	3 名
1400 kcal 程度	7 名	15 名
1300 kcal 程度	－	1 名
1200 kcal 程度	4 名	29 名
1100 kcal 程度	－ 名	14 名

※日本人の食事摂取基準2020の推定エネルギー必要量を参照

(3) 栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメントの実施状況

令和5年3月31日現在

栄養アセスメントの実施状況		栄養ケア・マネジメントの実施状況	
身長	(有・無)	栄養ケア・マネジメント	(実施している 実施していない)
体重	(年12回測定 無)	経口維持加算とその割合	(実施している 実施していない) Ⅰ(60 %)、Ⅱ(60%)
定期血圧検査	(有・無)		
有病状況の把握	(有・無)	療養食加算とその割合	(実施している 実施していない) 26%

(4) 栄養ケア・マネジメントの過程

● 栄養ケア・マネジメント

栄養ケア・マネジメントとは、健康の保持・増進のために最適な栄養ケアを提供することを目標として、スクリーニング（一定の基準によるリスクの判定・ふるい分け）を行い、栄養状態を的確に把握し、その評価・判定（栄養アセスメント）のもとに栄養ケア・栄養プログラムを計画する。

その計画の実施による栄養状態の変化のモニタリングから、計画等の評価と、再度栄養アセスメントを行い、その結果をフィードバックして、継続的にマネジメントする。

令和3年度から、施設系サービスにおいて、栄養ケア・マネジメントが基本サービスとして位置づけられたことにより、栄養マネジメント加算が廃止され、栄養マネジメント強化加算が新設された。栄養マネジメント強化加算は、これまでの栄養マネジメント加算が施設基準に組み込まれ、追加で栄養ケアに関する体制（管理栄養士の配置）の充実や、ミールラウンドなどによる丁寧な栄養ケアを評価するものである。

※ミールラウンド：栄養アセスメントのスクリーニングで中リスク・高リスクと判断された方に対して週3回以上の食事観察を行うこと。
低リスクの方でも日々の様子を確認し、状態に変化があればすぐに対応することなど、丁寧な栄養ケアを評価するものである。

● 栄養スクリーニング

下記のチェック項目より、低栄養状態のリスクレベルを判定し、病気の症状が現れる前に栄養に関する問題を発見することができるよう、概ね3ヵ月に1回、栄養スクリーニングを実施している。

〈低栄養状態のリスクの判断〉

全ての項目が低リスクに該当する場合には、「低リスク」と判断する。高リスクにひとつでも該当する項目があれば「高リスク」と判断する。それ以外の場合は「中リスク」と判断する。

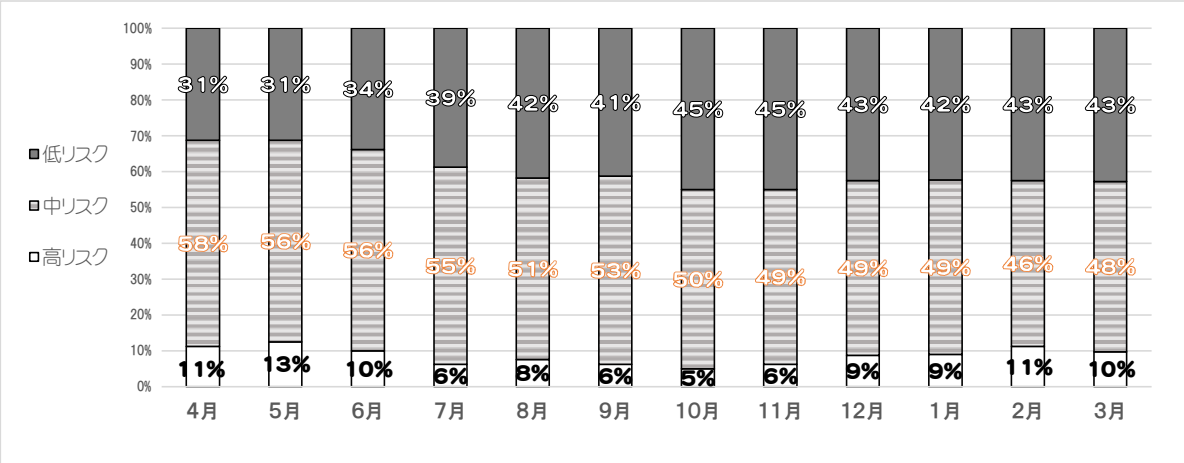
リスク分類	低リスク	中リスク	高リスク
BMI	18.5～29.9	18.5未満	
体重減少率	変化なし （減少3％未満）	1ヵ月に3～5％未満 3ヵ月に3～7.5％未満 6ヵ月に3～10％未満	1ヵ月に5％以上 3ヵ月に7.5％以上 6ヵ月に10％以上
血清アルブミン値	3.6g/dl以上	3.0～3.5g/dl	3.0g/dl未満
食事摂取量	76～100％	75％以下	
栄養補給法		経腸栄養 静脈栄養	
褥瘡			褥瘡

＊血清アルブミン値は、年1回の健康診断の際に測定

＊BMIの計算式
体重（kg）÷身長（m）^{2}

＊体重変化率の計算式
（通常の体重−現在の体重）÷
通常の体重×100

（3） 栄養スクリーニング月別内訳



低栄養状態のリスク分類の割合

年度	リスク分類(%)		
	高	中	低
令和2年度	5	62	33
令和3年度	7	54	39
令和4年度	9	52	40

要介護度

年度	区分							
	1	2	3	4	5	(計)	平均要介護度	
令和2年度	0	0	5	26	49	80	4.6	令和3年3月31日
令和3年度	0	0	4	32	44	80	4.5	令和4年3月31日
令和4年度	2	0	3	31	43	79	4.5	令和5年3月31日

（4） 経口維持支援の取り組み

ご利用者の認知機能が低下して食事がうまく摂取できなくなったり、摂食・嚥下機能の低下により食事の経口摂取が困難となったりしても、ご自分の口から食べる楽しみを得られるように、平成29年5月から、経口維持支援の取り組みを行っている。多職種が共同して、食事の観察（ミールラウンド）や会議を定期的に実施している。

この取り組みにより、て摂食・嚥下困難、口腔機能低下、認知症等を原因とする食事の問題を評価することで、ご利用者が最後までおいしく口から食べることをめざした適切な支援ができるようになった。

算定要件・単位数

	経口維持加算（Ⅰ）	経口維持加算（Ⅱ）
算定要件	月1回以上、医師、歯科医師、管理栄養士、看護職員、介護支援専門員その他の職種の者が共同して、食事の観察及び会議等を行い、入所者等が経口による継続的な食事の摂取を進めるための経口維持計画を作成し、特別な管理を実施した場合に算定。	協力歯科医療機関を定めた上で、経口維持加算（Ⅰ）を算定している場合であって、食事の観察及び会議等に医師、歯科医師、歯科衛生士又は言語聴覚士のいずれか1名以上が加わることにより、多種多様な意見に基づく質の高い経口維持計画を策定した場合に算定。
単位数	一人当たり 400単位/月	一人当たり 100単位/月

一人当たり計500単位/月算定

●経口維持加算算定人数・加算収入(経口維持加算(Ⅰ)・(Ⅱ)を算定)

年度	延べ加算人数(名)	加算収入(円)
平成30年度	365	1,820,000
令和元年度	496	2,480,000
令和2年度	508	2,540,000
令和3年度	524	2,620,000
令和4年度	549	2,745,000

●経口維持支援に取り組むメリット

・ご利用者の食事状況をより細やかに評価することができるため、食欲不振や嚥下障害等により食事量が減少しているご利用者でも、栄養バランスの良い食事を提供できるようになる
・専門職がそれぞれ感じている問題点を上げ、話し合う場を持つことができる
・ご利用者の変化に気づきやすくなり、問題点に対する対応策を多職種で協議した内容を、スムーズに現場にフィードバックできる
・歯科医療との連携により、歯の治療や義歯調整等、必要時に適切な歯科医療に繋ぐことができる

●経口維持支援まとめ

6年間の経口維持支援においては、ご利用者の口腔機能や咀嚼機能を重視し、その機能を改善・把握したうえで栄養管理を行うことが大切であると考えられました。看取り期に入った方でも、多職種協働によって長期にわたり経口摂取を維持する支援が可能であったことが挙げられます。

また、咽喉マイクを使用することで、嚥下機能の低下に気づきにくいご利用者の機能低下を早期に把握し、食事状況を評価することができたことも大きなメリットでした。これらの支援により、食欲不振や嚥下障害などにより食事量が減少しているご利用者にも、栄養バランスの良い食事を提供することができました。

栄養ケアマネジメントにおいても、要介護4のご利用者の割合は増えているものの、低栄養リスク分類の割合では、中リスクの割合が減り、低リスクの割合が増えていることから、ご利用者の機能維持や栄養状態の安定に繋がっていると考えられます。

あんどの里デイサービスセンター

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区 分	管理者	看護職	生活相談員	介護職	機能訓練指導員	栄養士	事務職	運転手清掃	計（名）
正職員	兼1	兼2	1+兼2	5＋兼4	兼3	兼1	兼1	－	6＋兼13
準職員	－	－	－	2	兼1	－	－	6	8+兼1
（計）	兼1	兼2	1+兼2	7＋兼4	兼3	兼1	兼1	6	14＋兼14

【業務委託】　給　食　日清医療食品株式会社

2 介護保険収入等

（単位;円）

年度	延べ利用人数（名）	介護報酬収益	介護負担金収益他	合　計
2	9,560	67,300,898	13,243,082	80,543,980
3	9,827	69,812,662	14,435,599	84,248,261
4	8,961	61,764,804	12,032,874	73,797,678

3 あんどの里デイサービスセンター月別利用状況

【1日あたりの利用定員】　通所介護＋介護予防＋新しい総合事業　40名
通所型サービスA（定員外）　午前5名/午後5名

令和5年3月31日現在

内　訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数（日）	26	26	26	26	27	26	26	26	20	24	24	27	304
前月末現在の登録者数（名）①	103	107	106	106	104	105	97	97	96	96	94	93	1,204
新規登録者数（名）②	5	4	0	2	2	1	3	1	2	1	1	4	26
登録廃止者数（名）③	1	5	0	4	1	9	3	2	2	3	2	2	34
当月末の登録者数計（名）＝①+②−③	107	106	106	104	105	97	97	96	96	94	93	95	1,196
通所介護（名）	69	71	70	67	66	64	63	64	54	62	59	61	770
介護予防（名）	27	28	28	27	28	28	30	30	32	30	29	33	350
通所型サービスA（名）	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7
月間利用実人数（名）＊当月中の登録廃止者も含む	98	100	100	95	94	92	93	94	86	92	88	95	1,127
未利用者数（名）＊1	9	6	6	9	11	5	4	2	10	2	5	0	69
月間延べ利用者数（名）	782	813	854	727	765	760	770	780	523	657	704	826	8,961
1日体験利用者数（名）	6	3	0	2	4	2	4	3	2	1	4	2	33
1日平均利用者数（名）	30.1	31.3	32.8	28.0	28.3	29.2	29.6	30.0	26.2	27.4	29.3	30.6	29.4
通所型サービスA 1日平均利用者数（名）	0.4	0.2	0.3	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1

＊1.未利用者数…　契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

令和5年3月31日現在

区　　分	要支援※1		要介護					未認定	合計	平均要介護度※2
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数（名）	18	16	26	18	9	8	0	0	95	2.0

※1 要支援の欄には、通所型サービスＡの利用者数を含む
※2 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

5 サービスの状況

（1） 入浴方法　　令和5年3月31日現在

区　　分	一般浴＊1	中間浴*2	特殊浴*3	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	64	25	3	3	95

＊1 一般浴… 大浴槽で行う入浴
＊2 中間浴… 1人用の浴槽で座った状態で行う入浴
＊3 特殊浴… 寝た状態で、特殊機械浴槽を利用した入浴

（2） 食事状況　　令和5年3月31日現在

区　　分	普通食	特別食（糖尿病、塩分・ｶﾛﾘｰ制限等に対応）	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	86	8	1	95

（3） 食事介助状況　　令和5年3月31日現在

区　　分	自立	一部介助	全介助	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	90	4	0	1	95

6 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 管理者	職　名 生活相談員	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	フラワーアレンジメント、季節の飾り、貼り絵、絵手紙
体力づくり	軽体操、数え歌体操、ゆとりっち体操、ラジオ体操、手指体操、歩行練習
個人活動	読書、オセロ、将棋、計算・漢字・脳トレドリル、ちぎり絵、絵手紙、囲碁、折り紙 フットマッサージ、パズル、ぬり絵

8 機能訓練月別実施内訳

＊理学療法士による機能訓練　　（延べ実施回数:a～i）

訓練内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	（計）
a: 介助歩行訓練	78	76	86	78	79	77	69	80	75	102	119	128	1,047
b: 階段昇降訓練	18	20	16	13	15	14	15	17	16	12	29	31	216
c: 基本姿勢・動作訓練	1	4	4	5	4	3	4	4	6	8	8	7	58
d: 起立訓練	31	35	39	39	41	43	39	41	49	78	98	86	619
e: 移乗訓練	5	3	5	5	4	7	5	7	7	3	6	7	64
f: 関節可動域訓練	47	52	61	55	55	60	59	65	53	75	80	99	761
g: 筋力訓練	81	82	88	83	87	87	78	77	73	97	106	125	1,064
h: 評価(新規・定期評価)	6	3	3	2	2	2	2	2	10	3	3	3	41
i: 実調	5	6	7	6	6	7	6	6	9	7	9	10	84
j: 計画書・定期コメント	28	30	32	31	31	32	29	30	33	36	37	43	392

(注)各項目の訓練内容

a:手引き・杖・歩行器・シルバーカー歩行、平行棒内歩行

c:寝返り・起き上がり・座位訓練

d:手引き、手すり把持、平行棒把持

e:車椅子⇔ベッド間、車椅子⇔便座間、方向転換からの着座等、

9 機能訓練別対象者数

訓練内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	（計）
a: 介助歩行訓練	20	21	23	23	23	23	21	22	21	26	26	31	280
b: 階段昇降訓練	7	7	6	6	6	6	6	6	5	8	8	9	80
c: 基本姿勢・動作訓練	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
d: 起立訓練	9	11	11	12	13	14	13	12	13	20	21	18	167
e: 移乗訓練	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
f: 関節可動域訓練	12	14	16	16	16	16	12	18	14	21	18	23	196
g: 筋力訓練	21	22	24	24	24	23	21	21	22	25	23	31	281
（計）	72	78	83	84	85	85	76	82	78	103	99	115	1,040

※1名につき、2種目以上の実施あり

あんどの里居宅介護支援事業所

1　職員配置

令和5年3月31日現在

区　分	管理者	介護支援専門員	事務職	計（名）
正 職 員	兼1	1+兼1	兼1	1+兼2

2　介護計画書作成件数推移

令和5年3月31日現在

要介護度／月	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
4月	3	6	41	11	12	7	5	85
5月	3	6	39	13	13	8	2	84
6月	4	5	37	11	15	8	3	83
7月	4	5	36	11	16	9	3	84
8月	4	6	36	10	17	8	2	83
9月	4	5	37	10	16	8	3	83
10月	4	5	34	10	18	8	3	82
11月	4	4	35	12	17	9	2	83
12月	4	4	33	12	15	10	3	81
1月	4	4	36	12	15	11	2	84
2月	5	4	35	12	17	8	2	83
3月	5	4	33	12	18	8	2	82
（計）	48	58	432	136	189	102	32	997

（件）

3　契約者数推移

令和5年3月31日現在

区分／月	新規	終了	当月にｻｰﾋﾞｽ利用なし（入院等）	区分／月	新規	終了	当月にｻｰﾋﾞｽ利用なし（入院等）
4月	6	3	0	10月	1	1	1
5月	1	2	1	11月	4	3	1
6月	0	0	1	12月	2	4	1
7月	1	1	0	1月	5	2	1
8月	4	3	2	2月	2	3	1
9月	0	2	0	3月	0	1	1

（名）　　（名）

あんどの里移動サービス

1　登録状況

令和5年3月31日現在

自家用有償旅客運送自動車数	車種	台数
	車椅子車	3台

運送区域	魚津市

＊発着のいずれかが魚津市内

登録者数		
	身体障害者	8名
	要介護認定者	6名

2　利用実績

令和5年3月31日現在

運送区域	魚津市	運送回数	27回
走行距離(延べ)	113Km	運送人数	27名
運送収入	19,650円		

デイサービスあんどの里ありそ館

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区 分	統括管理者	管理者	生活相談員	看護職	機能訓練指導員	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼4	兼1	兼1	兼4	兼1	兼13
準職員	－	－	－	兼2	兼2	兼3	－	兼7
（計）	兼1	兼1	兼4	兼3	兼3	兼7	兼1	兼20

【業務委託】　　給　食　　日清医療食品株式会社

2 介護保険収入等

（単位;円）

年度	延べ利用人数（名）	介護報酬収益	介護負担金収益他	合計
2	2,543	21,221,608	4,001,442	25,223,050
3	2,520	20,962,254	3,855,463	24,817,717
4	2,183	18,434,568	2,864,028	21,298,596

3 デイサービスあんどの里ありそ館月別利用状況

【1日あたりの利用定員】　　地域密着型通所介護＋介護予防＋新しい総合事業　10名
通所型サービスA（定員外）　午前5名/午後5名

令和5年3月31日現在

内　訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数（日）	21	22	22	21	23	22	21	22	20	20	20	23	257
前月末現在の登録者数（名）①	23	23	23	22	21	22	22	22	22	22	20	19	261
新規登録者数（名）②	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4
登録廃止者数（名）③	0	0	1	2	0	1	1	0	0	2	1	0	8
当月末の登録者数計（名）＝①+②-③	23	23	22	21	22	22	22	22	22	20	19	19	257
通所介護（名）	22	22	21	20	21	21	21	21	21	19	18	18	245
介護予防（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共生型デイ（名）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
通所型サービスA（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用実人数（名）＊当月中の登録廃止者も含む	23	23	22	21	22	22	22	22	22	20	19	19	257
未利用者数（名）＊1	1	1	1	0	1	0	0	1	22	0	0	0	27
月間延べ利用者数（名）	208	212	195	202	192	216	196	206	0	183	179	194	2,183
地域密着型＋予防1日平均利用者数（名）	9.9	9.6	8.8	9.6	8.3	9.8	9.3	9.3	0.0	9.1	8.9	8.4	8.4
通所型サービスA 1日平均利用者数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＊1.未利用者数…　契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

令和5年3月31日現在

区　　分	要支援※1		要介護					未認定	合計	平均要介護度※2
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数（名）	0	0	5	3	8	2	0	0	18	2.4

※1 要支援の欄には、通所型サービスＡの利用者数を含む
※2 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

5 サービスの状況

（1） 入浴方法　　令和5年3月31日現在

区　分	一般浴	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	19	0	19

（2） 食事状況　　令和5年3月31日現在

区　分	普通食	特別食 (糖尿病、塩分・ｶﾛﾘｰ制限等に対応)	合計
利用者数（名）	19	0	19

（3） 食事介助状況　　令和5年3月31日現在

区　分	自立	一部介助	全介助	合計
利用者数（名）	18	1	0	19

6 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 統括管理者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	カレンダー、ごみ箱、ぬり絵、貼り絵、季節の壁画、書道
体力づくり	軽体操、散策
ゲーム	風船バレー、ボーリング、玉入れゲーム、ありそ館かるた 絵合わせゲーム、言葉遊びゲーム、輪投げゲーム
個人活動	クロスワードパズル、読書、間違いさがし、家庭菜園、歌の会、お茶会

8 レジオネラ菌感染防止対策の状況

浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	清掃回数	レジオネラ属菌検査	
			検査実施年月日	検査結果
循環式	測定記録あり	週5回	令和5年2月17日	指摘事項なし

9 災害事故防止対策

(1)職員の防災及び事故防止意識の向上を図るため、教育の徹底を図る
(2)要介護重度者の避難に対し、2名で援助、また、ベッド・布団・車椅子の活用を図る
(3)防火・防災訓練の実践ができる体制づくり・避難経路の確保・消火器等の配置を覚える
(4)防火設備等の状況把握

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (2ヶ所)
	避難口(非常口)	有	有 (4ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有
	防火戸・防火シャッター	無	有 (2ヶ所)
消防用設備	屋内消火栓設備	無	
	消火器	有	有 (7本)
	スプリンクラー専用送水口	無	
	スプリンクラー設備	有	
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	有	有
	非常警報設備	有	有
	避難器具(救助袋)	無	
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (7ヶ所)
	防火用水	無	
	非常電源設備	無	
カーテン・布製ブラインド等の防炎性能		有	有

(5)消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出 平成31年4月9日	防火管理者	中西 英司

(6)各種防火訓練等の実施状況

実施年月日		消防署届出	消防署立会	記録
R4.6.28	通報・避難訓練	有	無	有
R5.2.9	消化・通報・避難訓練	有	無	有

(7)消防査察等の状況

査察実施なし

(8)緊急時連絡網等の整備状況

緊急連絡網等の整備	有

(9)防災設備等の保守点検の状況

(業者による点検)

点検事項	点検回数	点検者
消防用設備点検	年2回	株式会社ホクシン・システム

(自主点検)

	点検事項	点検回数	点検者
自主点検	消防用設備(外観)	年4回	防火管理者
	建築設備 (防火戸も含む)	月1回	防火管理者
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者

ヘルパーステーションあんどの里ありそ館

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区 分	統括管理者	管理者	サービス提供責任者	看護職	介護職	事務職	計（名）
正職員	兼1	兼1	兼1	－	兼5	兼1	兼9
準職員	－	－	－	－	兼5	－	兼5
（計）	兼1	兼1	兼1	0	兼10	兼1	兼14

2 介護保険収入等

（単位;円）

年度	延べ利用人数（名）	介護報酬収益他	介護負担金収益他	合計
2	11,908	23,377,582	3,779,643	27,157,225
3	12,016	24,143,530	3,781,485	27,925,015
4	11,478	22,493,742	3,181,623	25,675,365

3 ヘルパーステーションあんどの里ありそ館月別利用状況

【障害福祉サービス指定 平成28年6月：居宅介護、重度訪問介護、行動援護 平成30年2月：同行援護】

令和5年3月31日現在

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数（日）	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
前月末現在の登録者数（名）①	22	22	22	21	20	22	22	22	22	21	22	21	259
新規登録者数（名）②	0	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	1	7
登録廃止者数（名）③	0	0	1	2	0	1	1	0	1	0	1	0	7
当月末の登録者数計（名）＝①＋②－③	22	22	21	20	22	22	22	22	21	22	21	22	259
訪問介護 月間利用実人数（名）	20	20	19	18	20	20	20	20	19	20	19	20	235
介護予防訪問介護 月間利用実人数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害福祉サービス居宅介護 月間利用実人数（名）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
未利用者数（名）＊1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護 月間延べ利用者数（名）	957	995	827	931	876	992	1028	979	977	997	873	942	11,374
介護予防訪問介護 月間延べ利用者数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害福祉サービス居宅介護 月間延べ利用者数（名）	10	10	9	10	9	11	7	9	2	8	9	10	104
月間延べ利用者数の合計（名）	967	1005	836	941	885	1003	1035	988	979	1005	882	952	11,478
訪問介護＋介護予防訪問介護 1日平均利用者数（名）	31.9	32.1	27.6	30.0	28.3	33.1	33.2	32.6	31.5	32.2	31.2	30.4	31.2
障害福祉ｻｰﾋﾞｽ居宅介護 1日平均利用者数（名）	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3

＊1.未利用者数…契約はされているが、入院や、入退居のため当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

令和5年3月31日現在

区 分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数（名）	0	0	6	4	8	2	0	0	20	2.3

5 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 素野 千昭	0件	0件	0件	無

デイサービス花みずき

1　職員配置

令和5年3月31日現在

区　分	統括管理者	管理者	生活相談員	看護職	機能訓練指導員	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼5	兼1	兼1	兼7	兼1	兼17
準職員	－	－	－	兼3	兼3	兼4	－	兼10
（計）	兼1	兼1	兼5	兼4	兼4	兼11	兼1	兼27

【業務委託】　　給　食　　スタミナフード株式会社

2　介護保険収入等

（単位;円）

年度	延べ利用人数(名)	介護報酬収益	介護負担金収益他	合計
2	6,224	50,111,495	8,890,134	59,001,629
3	6,422	49,059,662	9,468,408	58,528,070
4	5,267	38,879,444	7,633,210	46,512,654

3　デイサービス花みずき月別利用状況

【1日あたりの利用定員】25名

令和5年3月31日現在

内　　訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数（日）	26	26	26	26	4	26	26	26	18	26	24	27	281
前月末現在の登録者数（名）①	37	33	34	33	32	31	33	32	30	28	28	29	380
新規登録者数（名）②	2	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	8
登録廃止者数（名）③	6	0	1	1	1	0	2	2	2	0	0	1	16
当月末の登録者数計（名）=①+②-③	33	34	33	32	31	33	32	30	28	28	29	29	372
通所介護（名）	33	34	34	33	32	33	34	32	29	26	27	29	376
介護予防（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山型デイ（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用実人数（名）＊当月中の登録廃止者も含む	33	34	34	33	32	33	34	32	29	26	27	29	376
未利用者数（名）＊1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	6
月間延べ利用者数（名）	529	519	514	501	78	488	502	484	311	438	427	476	5,267
1日平均利用者数（名）	20.3	20.0	19.8	19.3	19.5	18.8	19.3	18.6	17.3	16.8	17.8	17.6	18.8

＊1.未利用者数…　契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

《介護保険》 令和5年3月31日現在

区　分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度※1
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数（名）	0	0	5	6	7	7	4	0	29	3.0

※1 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

《障害福祉サービス》 令和5年3月31日現在

区　分	障害程度区分						未認定	合計
	1	2	3	4	5	6		
利用者数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0

5 サービスの状況

（1） 入浴方法 令和5年3月31日現在

区　分	一般浴	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	29	0	29

（2） 食事状況 令和5年3月31日現在

区　分	普通食	特別食（糖尿病、塩分・加ﾘｰ制限等に対応）	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	28	1	0	29

（3） 食事介助状況 令和5年3月31日現在

区　分	自立	一部介助	全介助	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	24	4	1	0	29

6 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 統括管理者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	生け花、書道、裁縫、編み物、絵画、クラフト、塗り絵
体力づくり	セラバンド体操、ゆとりっち体操、ハンドグリップ、散策、歩行練習、外気浴、抵抗運動
ゲーム	ビンゴ大会、連想ゲーム、玉入れ、綱引き、物送り
個人活動	読書、折り紙、ビーズつなぎ、コマ回し、おはじき、ビデオ鑑賞、脳トレプリント、将棋、ソルチア、トランプ、オセロ、ジグソーパズル、ブロックパズル、クロスワードパズル、宝石つまみ、知恵の輪、カラオケ、けん玉、タブレット脳トレゲーム、芋ほり

8 レジオネラ菌感染防止対策の状況

浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	清掃回数	レジオネラ属菌検査	
			検査実施年月日	検査結果
循環式	測定記録あり	週6回	令和5年2月6日	指摘事項なし

9 災害事故防止対策

(1)職員の防災及び事故防止意識の向上を図るため、教育の徹底を図る
(2)要介護重度者の避難に対し、2名で援助、また、ベッド・布団・車椅子の活用を図る
(3)防火・防災訓練の実践ができる体制づくり・避難経路の確保・消火器等の配置を覚える
(4)防火設備等の状況把握

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (2ヶ所)
	避難口(非常口)	有	有 (7ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有
	防火戸・防火シャッター	無	
消防用設備	屋内消火栓設備	無	
	消火器	有	有 (7本)
	スプリンクラー専用送水口	無	
	スプリンクラー設備	有	
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	有	有
	非常警報設備	有	有
	避難器具(救助袋)	無	
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (7ヶ所)
	防火用水	無	
	非常電源設備	無	
カーテン・布製ブラインド等の防炎性能		有	有

(5)消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出 令和4年6月13日	防火管理者	村井 良多

(6)各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	消防署立会	記録
R4.6.20 消火・避難訓練	有	無	有
R5.2.22 消火・避難訓練	有	無	有

(7)消防査察等の状況

今年度査察なし

(8)緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システム	有	緊急連絡網の整備	有

(9)防災設備等の保守点検の状況
(業者による点検)

点検事項	点検回数	点検者
消防用設備点検	年2回	株式会社小林電気

(自主点検)

	点検事項	点検回数	点検者
自主点検	消防用設備(外観)	年4回	防火管理者
	建築設備 (防火戸も含む)	月1回	防火管理者
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者

ヘルパーステーション花みずき

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区 分	統括管理者	管理者	サービス提供責任者	介護職	事務職	計（名）
正職員	兼1	兼1	兼1	兼7	兼1	兼9
準職員	－	－	－	兼4	－	兼4
（計）	兼1	兼1	兼1	兼11	兼1	兼13

2 介護保険収入等

（単位;円）

年度	延べ利用人数(名)	介護報酬収益	介護負担金収益他	合計
2	10,023	22,825,226	5,723,837	28,549,063
3	11,713	26,765,489	5,376,651	32,142,140
4	10,944	24,460,072	4,543,419	29,003,491

3 ヘルパーステーション花みずき月別利用状況

令和5年3月31日現在

内　訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数（日）	30	31	30	31	31	30	31	31	31	31	28	31	366
前月末現在の登録者数（名）①	22	22	22	21	20	20	22	22	22	22	22	22	259
新規登録者数（名）②	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
登録廃止者数（名）③	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
当月末の登録者数計（名）＝①＋②－③	22	22	21	20	20	22	22	22	22	22	22	21	258
訪問介護月間利用実人数（名）	22	22	22	21	20	22	22	22	22	22	22	22	261
介護予防訪問介護月間利用実人数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未利用者数（名）＊1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護月間延べ利用者数（名）	855	900	858	837	977	855	939	902	1,041	935	941	904	10,944
介護予防訪問介護月間延べ利用者数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間延べ利用者数の合計	855	900	858	837	977	855	939	902	1,041	935	941	904	10,944
1日平均利用者数（名）	28.5	29.0	28.6	27.0	31.5	28.5	30.3	29.1	33.6	30.2	33.6	29.2	29.9

＊1.未利用者数…契約はされているが、入院や、入退居のため当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

令和5年3月31日現在

区　分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数（名）	0	0	2	3	7	7	3	0	22	3.3

5 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

デイサービス花みずき弐番館

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区 分	統括管理者	管理者	生活相談員	看護職	機能訓練指導員	介護職	事務職	その他	計（名）
正職員	兼1	兼1	兼1	兼2	兼2	兼4	兼1	兼1	兼13
準職員	－	－	－	－	－	兼4	－	－	兼4
（計）	兼1	兼1	兼1	兼2	兼2	兼8	兼1	兼1	兼17

【業務委託】　給　食　　スタミナフード株式会社

2 介護保険収入等

（単位;円）

年度	延べ利用人数（名）	介護報酬収益		障害福祉サービス事業収益 ※1		合計
		国保連合会	利用者負担金収益	国保連合会	利用者負担金収益	
2	3,055	24,308,766	3,229,708	367,487	0	27,905,961
3	3,073	23,706,919	3,623,140	0	0	27,330,059
4	2,783	20,483,193	2,689,929	0	0	23,173,122

※1　富山型デイサービスの収入

3 デイサービス花みずき弐番館月別利用状況

【1日あたりの利用定員】　通所介護＋総合事業　10名

令和5年3月31日現在

内　訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数（日）	26	23	26	26	19	13	26	26	26	25	24	27	287
前月末現在の登録者数（名）①	26	26	27	27	27	26	26	27	27	26	26	29	320
新規登録者数（名）②	1	1	0	0	0	1	3	2	0	0	3	0	11
登録廃止者数（名）③	1	0	0	0	1	1	2	2	1	0	0	3	11
当月末の登録者数計（名）＝①+②-③	26	27	27	27	26	26	27	27	26	26	29	26	320
通所介護（名）	24	24	24	24	23	20	23	23	23	22	25	25	280
介護予防（名）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
富山型デイ（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用実人数（名）＊当月中の登録廃止者も含む	25	25	25	25	24	21	24	24	24	23	26	26	292
未利用者数（名）＊1	0	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	6
月間延べ利用者数（名）	260	230	260	259	189	114	234	252	250	245	237	253	2,783
1日平均利用者数（名）	10.0	10.0	10.0	10.0	9.9	8.8	9.00	9.7	9.6	9.80	9.88	9.4	9.7

＊1.未利用者数…　契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

《介護保険》 令和5年3月31日現在

区　分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度※1
	支1	支2	1	2	3	4	5			
利用者数（名）	1	0	6	8	5	5	1	0	26	2.5

※1 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

《障害福祉サービス》 ＊基準該当生活介護サービス 令和5年3月31日現在

区　分	障害程度区分						未認定	合計
	1	2	3	4	5	6		
利用者数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0

5 サービスの状況

（1） 入浴方法 令和5年3月31日現在

区　分	一般浴	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	25	1	26

（2） 食事状況 令和5年3月31日現在

区　分	普通食	特別食（糖尿病、塩分・ｶﾛﾘｰ制限等に対応）	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	24	2	0	26

（3） 食事介助状況 令和5年3月31日現在

区　分	自立	一部介助	全介助	ｻｰﾋﾞｽ利用なし	合計
利用者数（名）	22	3	1	0	26

6 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付責任者	第三者委員等の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 統括管理者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	四季の装飾、習字、水彩画、大人のぬり絵
体力づくり	個別体操、ゴムバンド体操、リズム体操、棒体操、歩行・階段訓練、エアロバイク、ステップ運動

8 レジオネラ菌感染防止対策の状況

浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	清掃回数	レジオネラ属菌検査	
			検査実施年月日	検査結果
循環式	測定記録あり	週6回	令和5年1月25日	指摘事項なし

9 災害事故防止対策

(1)職員の防災及び事故防止意識の向上を図るため、教育の徹底を図る
(2)要介護重度者の避難に対し、2名で援助、また、ベッド・布団・車椅子の活用を図る
(3)防火・防災訓練の実践ができる体制づくり・避難経路の確保・消火器等の配置を覚える
(4)防火設備等の状況把握

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (2ヶ所)
	避難口(非常口)	有	有 (7ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有
	防火戸・防火シャッター	無	無 (防火防煙ｽｸﾘｰﾝ 2ヶ所 有)
消防用設備	屋内消火栓設備	無	無
	消火器	有	有 (5本)
	スプリンクラー専用送水口	無	有
	スプリンクラー設備	有	有
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	有	無
	非常警報設備	有	無
	避難器具(救助袋)	無	無
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (9ヶ所)
	防火用水	無	無
	非常電源設備	無	無
ｶｰﾃﾝ・布製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ等の防炎性能		有	有

(5)消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出 平成22年6月8日	防火管理者	藤山 洋樹

(6)各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	消防署立会	記録
R5.2.8消火・通報・避難訓練	有	無	有
R5.3.31 消火・通報・避難訓練	有	無	有

(7)消防査察等の状況

査察実施あり

(8)緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システム	無	緊急連絡網の整備	有

(9)防災設備等の保守点検の状況

(業者による点検)

点検事項	点検回数	点検者
消防用設備点検	年2回	株式会社小林電気

(自主点検)

	点検事項	点検回数	点検者
自主点検	消防用設備(外観)	年4回	防火管理者
	建築設備 (防火戸も含む)	月1回	防火管理者
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者

ヘルパーステーション花みずき弐番館

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区 分	統括管理者	管理者	サービス提供責任者	看護職	介護職	事務職	計（名）
正職員	兼1	兼1	兼1	兼2	兼4	兼1	兼10
準職員	－	－	－	－	兼3	－	兼3
（計）	兼1	兼1	兼1	兼2	兼7	兼1	兼13

2 介護保険収入等

（単位;円）

年度	延べ利用人数（名）	介護報酬収益	介護負担金収益	合計
2	10,913	23,387,983	3,326,934	26,714,917
3	11,372	25,714,040	3,786,138	29,500,178
4	9,843	24,357,974	3,179,582	27,537,556

3 ヘルパーステーション花みずき弐番館月別利用状況

令和5年3月31日現在

内　訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数（日）	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
前月末現在の登録者数（名）①	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
新規登録者数（名）②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録廃止者数（名）③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当月末の登録者数計（名）＝①＋②－③	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
訪問介護月間利用実人数（名）	22	22	22	22	22	20	21	22	21	20	22	22	258
介護予防訪問介護月間利用実人数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未利用者数（名）＊1	0	0	0	0	0	2	1	0	1	2	0	0	6
訪問介護月間延べ利用者数（名）	850	919	947	932	852	706	638	728	866	812	748	845	9,843
介護予防訪問介護月間延べ利用者数（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間延べ利用者数の合計	850	919	947	932	852	706	638	728	866	533	748	845	9,843
1日平均利用者数（名）	28.3	29.6	31.6	30.1	27.5	23.5	20.6	24.3	27.9	17.2	26.7	27.3	26.2

＊1.未利用者数…契約はされているが、入院や、入退居のため当月にサービス提供がされなかった利用者の数

4 要介護度別利用者数

令和5年3月31日現在

区　分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5			
利用者数（名）	0	0	4	7	6	4	1	0	22	2.6

5 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 統括管理者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区 分	管理者	看護職	介護支援専門員	介護職	事務職	計(名)
正職員	兼1	3	兼1	3＋兼1	0	6+兼3
準職員	0	0	0	2	0	2
（計）	兼1	3	兼1	5+兼1	0	8+兼3

【業務委託】　給食　　スタミナフード株式会社

2 介護保険収入等

（単位;円）

年 度	延べ利用人数（名）	居宅介護料収益		合計
		国保連合会	利用者等	
2	6,970	52,833,687	11,698,362	64,532,049
3	7,416	54,799,730	11,245,896	66,045,626
4	6,970	57,804,875	11,237,649	69,042,524

3 小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館月別利用状況

【登録定員】25名　　【1日の利用定員】通い　15名　　宿泊　5名

令和5年3月31日現在

内　訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
前月末現在の登録者数(名) ①	25	25	25	25	24	24	23	23	23	24	24	24	289
新規登録者数(名) ②	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
登録廃止者数(名) ③	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	5
当月末の登録者数計(名)＝①＋②－③	25	25	25	24	23	23	23	23	24	23	24	25	287
要介護(名)	19	19	20	19	19	20	19	19	18	18	18	20	228
要支援(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用者数(名)	19	19	20	19	19	20	19	19	18	18	18	20	228
未利用者数（名）*1	6	6	5	6	5	3	4	4	6	6	6	6	63
月間延べ利用者数(名)	645	649	625	637	616	503	584	483	517	542	515	654	6,970
1日平均利用者数(名) *2	21.5	20.9	20.8	20.5	19.8	16.7	18.8	16.1	16.6	17.4	18.3	21.0	6.2

＊1.未利用者数
契約はされているが、入院や自宅療養、予定されていた利用のキャンセル等により、当月にサービス提供がされなかった利用者の数

＊2.1日平均利用者数
ひとりの利用者が、1日に通い・訪問・宿泊のいずれか複数のサービスを利用する場合があるため、1日平均利用者数が定員の25名を超える場合がある

4 要介護度別利用者数

令和5年3月31日現在

区　分	要支援		要介護					未認定	合計	平均要介護度※1
	支1	支2	1	2	3	4	5			
利用者数(名)	0	0	2	12	9	2	0	0	25	2.4

※1 「平均要介護度」には、要支援の利用者数は含まない

5 サービスの状況

(1) 入浴方法　　令和5年3月31日現在

区　分	一般浴	サービス利用なし	合計
利用者数(名)	25	0	25

(2) 食事状況　　令和5年3月31日現在

区　分	普通食	特別食 (糖尿病・塩分・カリ-制限等に対応)	合計
利用者数(名)	25	0	25

(3) 食事介助状況　　令和5年3月31日現在

区　分	自立	一部介助	全介助	合計
利用者数(名)	24	0	1	25

6 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 素野 千昭	0件	0件	0件	無

7 余暇時間の活動メニュー

作品制作	カレンダー、ちぎり絵、折り紙アート、七夕飾り、紅葉飾り
個人活動	読書、パズル、ぬり絵、漢字・計算プリント、習字、歌唱

8 レジオネラ菌感染防止対策の状況

浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	清掃回数	レジオネラ属菌検査	
			検査実施年月日	検査結果
循環式	測定記録あり	週6回	令和5年1月27日	指摘事項なし

9 災害事故防止対策

(1)職員の防災及び事故防止意識の向上を図るため、教育の徹底を図る
(2)要介護重度者の避難に対し、2名で援助、また、ベッド・布団・車椅子の活用を図る
(3)防火・防災訓練の実践ができる体制づくり・避難経路の確保・消火器等の配置を覚える
(4)防火設備等の状況把握

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有	有 (1ヶ所)
	避難口(非常口)	有	有 (3ヶ所)
	居室・廊下・階段等の内装材料	有	有
	防火戸・防火シャッター	無	無 (防火防炎ｽｸﾘｰﾝ1ヶ所有)
消防用設備	屋内消火栓設備	無	無
	消火器	有	有 (10本)
	スプリンクラー専用送水口	有	有
	スプリンクラー設備	有	有
	自動火災報知設備	有	有
	非常通報装置	有	有
	漏電火災警報器	無	無
	非常警報設備	無	無
	避難器具(救助袋)	無	無
	誘導灯及び誘導標識	有	有 (4ヶ所)
	防火用水	無	無
	非常電源設備	無	無
ｶｰﾃﾝ・布製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ等の防炎性能		有	有

(5)消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出　平成23年1月15日	防火管理者	藤山　洋樹

(6)各種防火訓練等の実施状況

実施年月日	消防署届出	消防署立会	記録
R4.10.24　消火・通報・避難訓練(夜間想定)	有	無	有
R5.3.20　消火・通報・避難訓練(夜間想定)	有	有	有

(7)消防査察等の状況

査察実施なし

(8)緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システム	無	緊急連絡網の整備	有

(9)防災設備等の保守点検の状況

(業者による点検)

点検事項	点検回数	点検者
消防用設備点検	年2回	株式会社小林電気

(自主点検)

	点検事項	点検回数	点検者
自主点検	消防用設備(外観)	年4回	防火管理者
	建築設備 (防火戸も含む)	月1回	防火管理者
	火気使用器具設備	随時	火元責任者
	危険物設備	随時	防火管理者

障害者支援施設ひゞき
ショートステイひゞき
ひゞき計画相談支援事業所

1　職員配置

令和5年3月31日現在

区　分	施設長	医師	理学療法士	看護職	ｻｰﾋﾞｽ管理責任者	相談支援員	生活支援員	栄養士	事務職等	計（名）
正職員	兼1	0	1	1	1	兼1	11	1	兼2	15+兼4
準職員	0	兼2	0	0	0	0	6	0	2	8+兼2
（計）	兼1	兼2	1	1	1	兼1	17	1	兼2+2	23+兼6

【業務委託】 宿直　　公益社団法人 魚津市シルバー人材センター
【業務委託】 給食　　日清医療食品株式会社
【協力病院】　　富山ろうさい病院、みのう医科歯科クリニック

2　障害福祉サービス費等収入（生活介護・施設入所支援）

【定員】20名　　（単位;円）

年度	延べ入所者数（名）	介護給付	食事等		合計
		国保連合会	国保連合会	利用者負担金	
2	7,264	130,007,632	3,335,570	10,849,870	144,193,072
3	7,227	130,881,090	2,638,330	10,562,494	144,081,914
4	6,911	125,308,070	2,129,522	10,483,656	137,921,248

3　障害福祉サービス費等収入（短期入所）

【定員】3名+空床型　　（単位;円）

年度	延べ入所者数（名）	介護給付		食材、光熱費費	合計
		国保連合会	利用者負担金		
2	591	4,361,283	484,587	758,660	5,604,530
3	698	5,624,460	624,940	553,461	6,802,861
4	785	6,262,551	695,839	675,678	7,634,068

4　障害福祉サービス費等収入（計画相談支援）

年度	計画者数（名）	自立支援給付費（円）
2	85	1,218,500
3	54	735,630
4	17	248,160

5　短期入所利用状況

【定員】3名　　令和5年3月31日現在

内　訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	（計）	平均
利用者数（名）		9	13	10	11	10	9	10	8	6	9	8	11	114	9.5
（内訳）	新　規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1
	再利用	9	13	10	11	10	9	10	8	6	9	8	10	113	9.4
延べ利用人数		61	88	75	81	54	58	73	48	40	64	64	79	785	65.4

6　入所者の状況

(1)入所者の年齢構成等

令和5年3月31日現在

年齢／性別	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	(計)	年齢(歳) 最高	最低	平均
男性(名)	0	0	0	2	0	0	0	3	4	1	0	10	69	30	56.8
女性(名)	0	0	0	1	0	1	0	1	4	1	1	9	72	33	56.6
計(名)	0	0	0	3	0	1	0	4	8	2	1	19			56.7

(2)在所期間の状況

令和5年3月31日現在

期間／性別	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上	(計)	1人あたり平均在所期間(月)
男性(名)	0	0	0	4	2	4	10	11年6ヶ月
女性(名)	3	0	2	0	1	3	9	11年7ヶ月
計(名)	3	0	2	4	3	7	19	11年7ヶ月

(3)日常生活の状況

(ア)障害支援区分

令和5年3月31日現在

区　分	3	4	5	6	(計)
男性(名)	0	1	1	8	10
女性(名)	1	0	2	6	9
計(名)	1	1	3	14	19
割合(%)	5	15	15	70	95

(イ)身体障害者手帳等級

令和5年3月31日現在

等　級	1	2	3	4	5	6	(計)
実数(名)	12	7	0	0	0	0	19

(ウ)手帳所持者の人数

令和5年3月31日現在

1)療育手帳	3 名
2)精神保健福祉手帳	0 名
(計)	3 名

(エ)重複障害の状況

令和5年3月31日現在

身体障害と知的障害と精神障害の重複	0 名
身体障害と知的障害の重複	3 名
身体障害と精神障害の重複	0 名
身体障害	17 名
(計)	20 名

7　入所者の健康診断実施状況

令和5年3月31日現在

実施日	実施人数	検査項目	検査機関
令和4年5月6日	19名	心電図、胸部X線、血液	一般財団法人 北陸予防医学協会
令和5年3月29日	17名	心電図、胸部X線、血液	一般財団法人 北陸予防医学協会

8　苦情解決の状況

令和5年3月31日現在

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 サービス管理責任者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

9 機能訓練月別実施内訳

(延べ回数:a～l)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)
① 介助歩行	5	6	6	6	3	4	5	3	2	4	4	8	56
② 基本姿勢・動作	20	22	22	20	28	18	26	16	11	11	18	21	233
③ 起立	19	20	19	20	20	17	18	16	5	8	18	18	198
④ 移乗	26	28	32	30	26	24	28	34	11	17	25	36	317
⑤ ﾍﾞｯﾄﾞ・車椅子上関節可動域	78	68	73	58	67	63	68	72	28	33	64	84	756
⑥ ﾍﾞｯﾄﾞ上筋力	22	24	21	17	23	11	18	17	11	18	14	19	215
⑦ 臥床ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ評価・ﾏﾆｭｱﾙ作成	2	4	6	12	8	8	5	17	2	2	8	6	80
⑧ 補助具等の使用指導	36	27	22	28	23	17	23	24	9	11	17	19	256
⑨ 補装具の調整・申請	0	2	2	3	6	3	4	1	0	0	1	1	23
⑩ 評価(新規・定期評価)	3	8	8	16	18	14	15	15	10	8	9	11	135
⑪ ｺﾒﾝﾄ作成	3	6	6	10	8	7	10	5	6	4	5	5	75
実施者延べ人数	214	215	217	220	230	186	220	220	95	116	183	228	2,344
内部研修実施数 （リハビリ小委員会による）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

(注)各項目の評価・訓練内容

①歩行器歩行、平行棒内歩行

②寝返り・起き上がり・座位訓練

③平行棒把持

10 機能訓練別対象者数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(名)
① 介助歩行訓練	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
② 基本姿勢・動作訓練	5	6	7	8	10	7	9	12	4	5	4	4	81
③ 起立訓練	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	5	3	47
④ 移乗訓練	5	7	8	8	6	7	6	8	4	8	6	7	80
⑤ ﾍﾞｯﾄﾞ・車椅子上関節可動域訓練	12	11	11	12	13	13	13	10	13	7	14	12	141
⑥ ﾍﾞｯﾄﾞ上筋力訓練	8	7	7	7	7	10	7	6	5	7	6	8	85
⑦ 臥床ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ	2	3	5	9	2	3	3	5	1	2	6	4	45
⑧ 補装具等の使用指導	7	7	7	7	6	5	5	6	5	4	6	4	69
⑨ 補装具の調整・申請	0	1	2	2	6	3	2	1	0	0	1	1	19
計（名）	44	47	52	58	55	53	50	53	36	38	49	44	579

※1名につき、2種目以上の実施あり

11 年間の主な行事

毎月開催しているもの	書道教室、川柳の会、意見交換会、リクエストランチ
主な年間行事	誕生会(2か月ごと)、テイクアウト祭り、映画鑑賞会、オセロ大会 黒ひげ危機一髪ゲーム大会、ネイル、おやつ作り 秋祭り、豆まき、ひな祭り

12 栄養ケア・マネジメント

令和5年3月31日現在

【1】(1) 給食に関する基本方針等

健康維持と生活の質の向上に食事の果たす役割は大きい。
低栄養の予防・改善を目標に、入所者お一人おひとりに栄養ケア・マネジメントを行い、
体調が安定した状態で生活ができるように支援していく。
また、安全な食事提供を行うことができるよう、食中毒の予防に徹する。
入所者の皆様に楽しみとおいしさ、心身ともに豊かさを保てるような「食」を提供できるよう努める。

(3) 栄養量等の状況

項目 / 内訳	エネルギー (Kcal)	たん白質 (g)	ビタミンC (mg)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	食塩相当量 (g)
本施設の栄養基準量	1,650	60	85	600	10	7.0
基準月の1日あたりの平均栄養量	1,637	60	84	732	8.6	7.0

(3) 食事摂取の方法

経口摂取			経管栄養	静脈栄養	合計
常食	やわらか食	嚥下食			
12 名	4 名	1 名	1 名	0 名	18 名

(4) 医師の食事せんに基づく特別食の提供状況

経管栄養のための濃厚流動食提供者数	療養食提供者数	特別な場合の検査食提供者数
1 名	1 名	0 名

(5) 食事の提供時間

朝食	昼食	夕食
7:30 ～ 8:30	11:30 ～ 12:15	17:45 ～ 18:30

(6) 食事が適温で食べられるような配慮及び対応

温冷配膳車等による食事の提供を行っている。
食器類(飯椀、汁椀、主菜皿)に蓋を使用し、保温効果を保ちながら乾燥を防ぐように努めている。

(7) 嗜好調査・残食(菜)調査の実施状況

嗜好調査の実施状況	年1回実施、記録 (有)・ 無
残食(菜)調査の実施状況	実施頻度((毎食)・ 定期(具体的に:)・ 不定期) 記録 (有)・ 無

(8) 検食の実施状況

区分	検食時刻	検査者職名及び検食者数		記録の有無
朝食	7:20	夜勤者	計1名	有
昼食	11:20	早番者、日勤者、管理栄養士のうち、いずれかの者	計1名	有
夕食	17:30	夜勤者	計1名	有

(9) 厚生センターの立入検査の状況

実施年月日	主な指摘・指導等の内容	左記に対する対応
令和4年11月4日	異物混入防止の為、調理室内の掲示は最小限としラミネート加工や大きなマグネットを用いるようにする	時間がたった掲示物は破棄し、必要な掲示物にはラミネート加工を施した。

(10) 給食の運営方法

委託先事業者名	日清医療食品株式会社
委託内容	食事サービス提供業務

＊(1)(2)(5)(6)(7)(9)(10)は特別養護老人ホームあんどの里と同じ

【2】 栄養ケア・マネジメント

(1) 食事形態状況

令和5年3月31日現在

経口摂取				経管栄養（胃ろう）
主食		副食		
米飯	8名	常食	12名	1名
軟飯	4名	やわらか食	4名	
粥	5名	嚥下食	1名	
ミキサー粥	0名			
計	17名	計	17名	

【常食】
噛む力、飲み込む力に問題のない方への食事
【やわらか食】
やわらかく煮込んだ食事
【嚥下食】
ムース状の食事

（定員：20名、空床：2名）

(2) 対象者の状況

令和5年3月31日現在

給与栄養目標量（kcal）	男性	女性
2,300 kcal 程度	2 名	0 名
2,200 kcal 程度	6 名	0 名
2,000 kcal 程度	2 名	0 名
1,800 kcal 程度	0 名	2 名
1,600 kcal 程度	0 名	6 名

※日本人の食事摂取基準2020の推定エネルギー必要量を参照

(3) 栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメントの実施状況

令和4年3月31日現在

栄養アセスメントの実施状況		栄養ケア・マネジメントの実施状況	
身長	（有・無）	栄養マネジメント加算	（実施している・実施していない）
体重	（年12回測定・無）	経口維持加算とその割合	（実施している・実施していない） 30%
定期血圧検査	（有・無）		
有病状況の把握	（有・無）	療養食加算とその割合	（実施している・実施していない） 5%

(4) 栄養ケア・マネジメントの過程

● 栄養ケア・マネジメント

栄養ケア・マネジメントとは、ご利用者の栄養状態を判定し、改善すべき栄養上の問題を解決するために、一人ひとりに最適な栄養ケアを行うシステムであり、ご利用者の栄養状態、健康状態を改善してQOL（Quality Of Life；生活の質，人生の質）を向上させることをめざす。

栄養ケア・マネジメントは、健康の保持・増進のために最適な栄養ケアを提供することを目標として、スクリーニング（一定の基準によるリスクの判定・ふるい分け）を行い、栄養状態を的確に把握し、その評価・判定（栄養アセスメント）のもとに栄養ケア・栄養プログラムを計画する。その計画の実施による栄養状態の変化のモニタリングから、計画等の評価と再アセスメントを行い、その結果をフィードバックして、継続的にマネジメントする。

● 栄養スクリーニング

下記のチェック項目より、低栄養状態のリスクレベルを判定し、病気の症状が現れる前に栄養に関する問題を発見することができるよう、概ね3ヵ月に1回、栄養スクリーニングを実施している。

〈低栄養状態のリスクの判断〉

全ての項目が低リスクに該当する場合には、「低リスク」と判断する。高リスクにひとつでも該当する項目があれば「高リスク」と判断する。それ以外の場合は「中リスク」と判断する。

リスク分類	低リスク	中リスク	高リスク
BMI	16.0～24.5未満	やせ：11.5～16.0未満 肥満：24.5～28.5未満	やせ：11.5未満 肥満：28.5以上
体重減少率	変化なし （減少3%未満）	1ヵ月に3～5%未満 3ヵ月に3～7.5%未満 6ヵ月に3～10%未満	1ヵ月に5%以上 3ヵ月に7.5%以上 6ヵ月に10%以上
血清アルブミン値	3.6g/dl以上	3.0～3.5g/dl	3.0g/dl未満
食事摂取量	76～100%	75%以下	
栄養補給法	経口摂取	経腸栄養法 静脈栄養法	
褥瘡	なし	なし	褥瘡あり

＊BMIの計算式
体重（kg）÷身長（m）^{2}

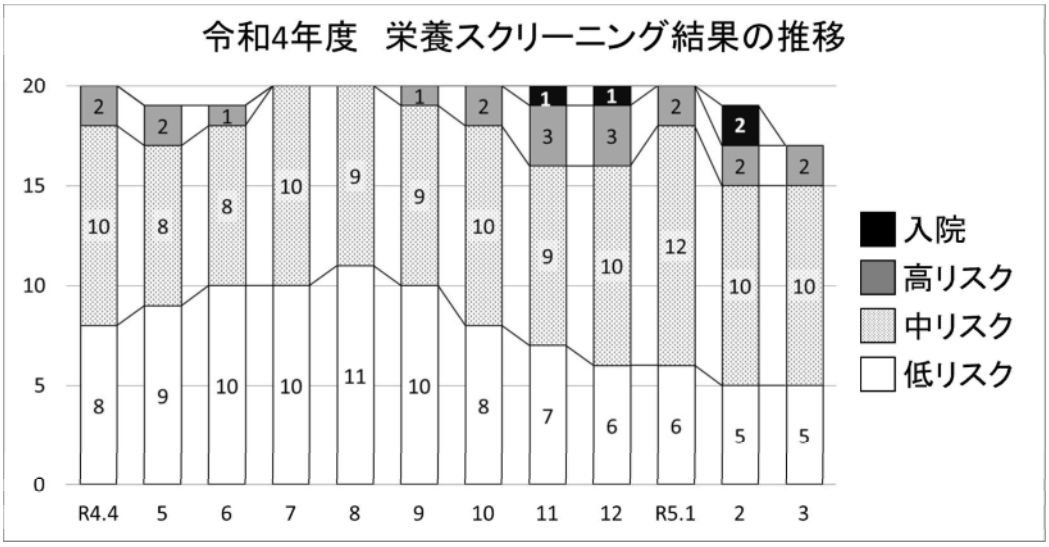
＊体重変化率の計算式
（通常の体重−現在の体重）÷通常の体重×100

＊血清アルブミン値は、年2回の健康診断の際に測定し、栄養アセスメントに用いている。

(5)　栄養ケア・マネジメント

令和4年度の栄養スクリーニング結果の推移を図1に示す。

定員:20名



(6)　経口維持支援の取り組み

ひゞきでは、ご利用者の疾患の進行や加齢のほか、早食い、丸呑み、偏食、食べこぼし等、食行動の様々な課題が存在する。これらの課題を解決し、自分の口から食べる楽しみを得られるように、令和3年6月より、多職種が共同して食事の観察(ミールラウンド)や会議を行う経口維持支援の取り組みを実施している。

算定要件・単位数

	経口維持加算(Ⅰ)	経口維持加算(Ⅱ)
対象者	指定障害者支援施設等において、現に経口により食事を摂取する者であって、摂食機能障害を有し、誤嚥が認められる入所者	
算定要件	医師又は歯科医師の指示に基づき、医師、歯科医師、管理栄養士、看護師その他の職種の者が共同して、入所者の栄養管理をするための食事の観察及び会議等を行い、入所者ごとに、経口による継続的な食事の摂取を進めるための経口維持計画を作成している場合であって、当該計画に従い、医師又は歯科医師の指示を受けた管理栄養士又は栄養士が、栄養管理を行った場合	協力歯科医療機関を定めている指定障害者支援施設等が、経口維持加算(Ⅰ)を算定している場合であって、入所者の経口による継続的な食事の摂取を支援するための食事の観察及び会議等に、医師、歯科医師、歯科衛生士又は言語聴覚士が加わった場合
単位数	1人当たり　400単位/月	1人当たり　100単位/月

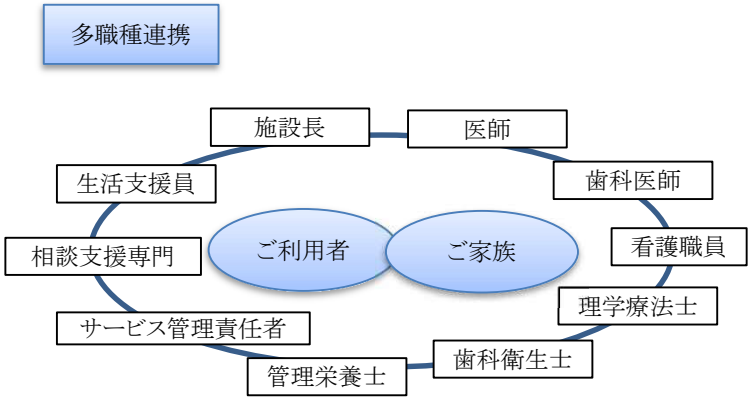
1人当たり計500単位/月算定

対象者

対象者の条件
① 現に経口により食事を摂取している
② 摂食機能障害がある
③ 誤嚥がある
④ 特別な管理が必要である

＋

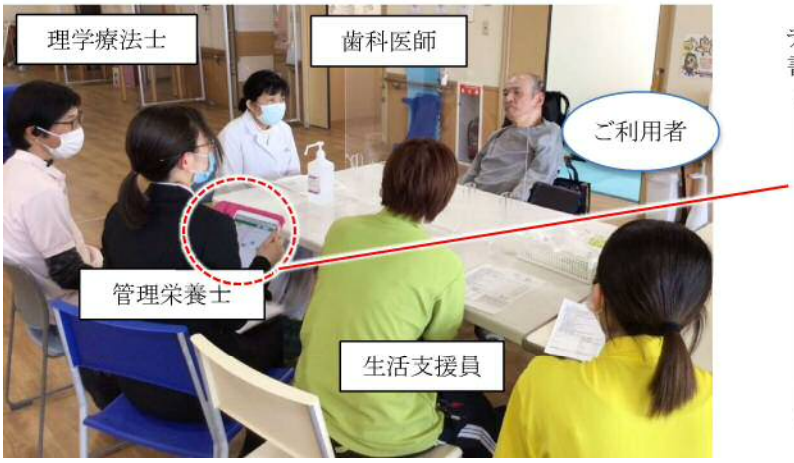
ひゞき　では・・・
左記の条件に該当するご利用者の中でも、**誤嚥のリスクが高いご利用者**から順に、医師の診察・指示のもと、経口維持支援を実施している



多職種連携で、食事の観察(ミールラウンド)や会議をするときの確認事項

医療・健康面	食事形態
服薬状況	とろみ
認知機能	栄養補助食品
摂食・嚥下機能	嗜好
食事の周囲環境	歯・義歯の状態
姿勢・座位保持	歯科受診の必要性
食器、食事道具	口腔内の状態
食事介助の方法	口腔ケア　など

●ミールラウンドの様子



■ ICT活用

ミールラウンドの記録はタブレットで介護記録システムに入力し、ペーパーレス化を図ると同時に、文書や動画で職員間の情報共有をすることができる

・食事形態
・座位姿勢
・摂食・嚥下機能
・介助時の注意点
・嚥下音
・歯科医師の助言

文書や動画で情報共有できる

●経口維持加算算定人数・加算収入(経口維持加算(Ⅰ)・(Ⅱ)を算定)

年度	延べ加算人数(名)	加算収入(円)
令和3年度	55	275,000
令和4年度	83	415,000

※R3年度は6月～3月

R5.3.31現在　加算対象:6名

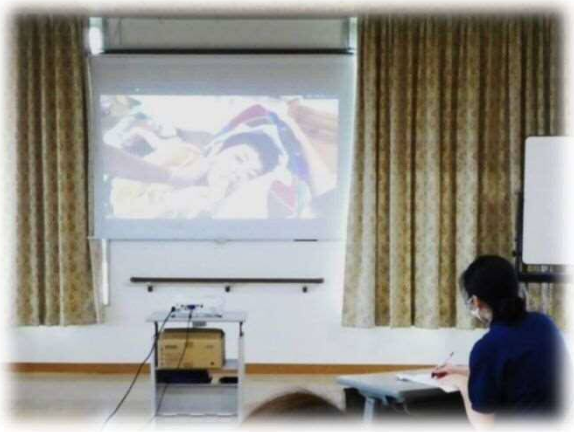
● 経口維持支援の取り組みを行った成果

- 歯科医療との連携が図られ、歯の治療や義歯調整など、必要時に適切な歯科医療につなぐことができた
- 歯科医師等の助言を得ることで、職員の知識が深まり、日頃のケアの改善に活かすことができた
- 多職種協働で食支援を行うことで、各専門職の視点からの意見や提案を生活支援員に伝えることできた
- 経口維持の支援の目的や課題を共有し、解決に向けて意見交換をすることができた
- 各職種が意見交換を行うようになり、ミールラウンド時以外でも、その都度食事形態や食事介助方法、食事姿勢の相談をしやすくなった

(7)口腔ケア研修の実施

歯科衛生士事務所ピュアとやまより、八幡祐子氏を招き、口腔ケア研修を開催した。

開催日: 令和4年8月1日
開催場所: あんどの里リハビリ室
参加人数: 13名　(内訳) 本館:2名、東館:5名、ひゞき:3名、
ありそ館:1名、管理栄養士:2名
内容: 口腔機能・口腔ケアについての講義
利用者様の口腔ケアのデモンストレーションを通して、
口腔ケアのポイントや手技を学んだ



コロナ禍のため、他の部署での技術指導は、
各部署と研修会場をオンラインで中継して、
様々な事例の口腔ケア技術を学びました。

(7)まとめ

今年度は、加齢や疾患の進行、感染症等により、嚥下能力が低下して経口摂取が困難になった事例が数件あった。ご本人やご家族の希望により、他施設への転院となる方もいらっしゃったが、転院直前まで経口摂取できるように、多職種で食事形態や食事姿勢を検討し、誤嚥や窒息、誤嚥性肺炎を防ぐことができた。

また、経口維持支援の取り組みを通して、多職種で連携し、咀嚼能力等の口腔機能や嚥下機能、食事姿勢等を評価することで、一人ひとりのご利用者の課題に対して多角的な視点から向き合うことができた。

更に今年度は、口腔ケア研修も開催し、経口摂取を継続するためには、口腔内の状態のアセスメントやケアが重要であることを学んだ。

今後は、令和3年度より始まった経口維持支援に加え、口腔ケアのアセスメント技術も取り入れながら、ご利用者がより安全に、安心して食事を摂り続けられるように努めていきたい。

ぶどうの森

1 職員配置

令和5年3月31日現在

区　分	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	運転手	医師	看護職	計（名）
正職員	兼1	1+兼1	2	1	－	－	0.2	兼2+4.2
準職員	－	－	－	2	－	0.1	－	2.1
（計）	兼1	1+兼1	2	3	0	0.1	0.2	兼2+6.3

【協力病院】　　みのう医科歯科クリニック

2 障害福祉サービス費等収入

【定員　20名】 就労継続支援B型14名　生活介護事業6名　　（単位;円）

年度	延べ利用者数（名）	介護給付	利用者負担金	合計
		国保連合会	利用者	
2	2,990	22,836,920	194,940	23,031,860
3	3,955	32,269,233	126,817	32,396,050
4	4,443	33,752,960	368,830	34,121,790

3 就労支援事業

（単位;円）

年度	年間就業時間（時間）	受託業務	生産活動	合計
2	6,829	961,774	3,842,840	4,804,614
3	9,610	843,715	11,191,924	12,035,639
4	11,240	1,138,571	10,236,162	11,374,733

（単位;円）

支払対象延利用者数（名）	工賃支払総額	工賃平均月額
154	1,541,860	10,012
194	2,363,742	12,184
245	2,736,353	11,169

4　利用者の状況

(1)利用者の年齢構成等　　令和5年3月31日現在

年齢／性別	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	(計)
男性(名)	3	13	2	2	5	1	26
女性(名)	0	3	0	3	2	0	8
計(名)	3	16	2	5	7	1	34

(2)身体障害者手帳等級　　令和5年3月31日現在

等　級	3	4	5	6	(計)
実数(名)	0	0	1	1	2

(3)手帳所持者の人数　　令和5年3月31日現在

1)療育手帳	20 名
2)精神保健福祉手帳	12 名
(計)	32 名

5 苦情解決の状況

令和5年3月31日現在

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 サービス管理責任者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

6 災害事故防止対策

(1)消防計画及び防火管理者の消防署への届出状況

消防計画の作成・届出　令和2年2月17日	防火管理者	嶋崎　貴芳

(2)各種防火訓練等の実施状況

実　施　年　月　日	消防署届出	消防署立会	記録
R4.6.21　消火・通報・避難活動、初動動作の確認	無	無	有
R4.10.6　シェイクアウト訓練、初動動作と現場確認	無	無	有

グループホーム花みずき弐番館

1 事業体制等

令和5年3月31日現在

区 分	世話人	事務職	計（名）
正職員	兼1	兼1	兼2

【業務委託】　宿　直 ;公益社団法人 富山市シルバー人材センター　　給　食 ;スタミナフード株式会社
　　世話人 ;公益社団法人 富山市シルバー人材センター
【協力病院】　里村クリニック

【家賃等】　（単位;円）

内　訳	個　室
家　賃	30,000
共益費	10,000
（計）	40,000

【食　費】　（単位;円）

朝　食	420
昼　食	640
夕　食	620
昼おにぎり	110

【居室数】

個　室	2人部屋
4室	－

2 障害福祉サービス費等収入

（単位;円）

年度	延べ入所者数（名）	訓練等給付		特定障害者特別給付	家賃・食費等	合計
		国保連合会	利用者負担金			
2	1,460	4,403,230	489,219	360,000	3,189,520	8,441,969
3	1,460	3,674,788	408,293	360,000	3,061,120	7,504,201
4	1,460	3,645,824	405,060	360,000	2,973,760	7,384,644

3 入所者の状況

（1） 入所者の年齢構成等　　令和5年3月31日現在

性別＼年齢	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	計（名）	年　齢（歳）		
									最高	最低	平均
男性(名)	0	1	2	0	0	0	0	3	30	26	28
女性(名)	0	0	0	0	0	0	1	1	78	78	78
計（名）	0	1	2	0	0	0	1	4			53

（2） 日常生活の状況

（ア） 障害程度区分　　令和5年3月31日現在

区　分	非該当	1	2	3	4	5	6	（計）
男性(名)	3	0	0	0	0	0	0	3
女性(名)	1	0	0	0	0	0	0	1
計（名）	4	0	0	0	0	0	0	4

（イ） 手帳所持者の人数　令和5年3月31日現在

療育手帳	4 名
身体障害者手帳	1 名

（ウ） 重複障害の状況　　令和5年3月31日現在

知的障害と身体障害の重複	1 名
知的障害	3 名

4 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

ケアメントハウスあんどの里ありそ館

1　事業体制等

令和5年3月31日現在

区　分	統括管理者	管理者	介護職	事務職	計（名）
正職員	兼1	兼1	兼4	兼1	兼7
準職員	－	－	兼5	－	兼5
（計）	兼1	兼1	兼9	兼1	兼12

【業務委託】　宿直；公益社団法人 魚津市シルバー人材センター　　【協力病院】 みのう医科歯科クリニック
給食；日清医療食品株式会社
【併設事業所】デイサービスあんどの里ありそ館、ヘルパーステーションあんどの里ありそ館

【家賃等料金】　（単位；円）

内　訳	個　室	2人部屋
家　賃	45,000	45,000
共益費	23,000	28,000
管理費（税抜）	26,300	42,600
食　費（税抜）	1,481（日額）	

【居室数】

個　室	2人部屋
17室	2室

2　高齢者住宅事業収入

（単位；円）

年度	家賃等収益	食費	その他	合計
2	22,912,071	11,054,370	18,245	33,984,686
3	22,789,258	10,964,880	228,550	33,982,688
4	22,905,637	11,172,800	28,635	34,107,072

3　入居者の状況

（1）入居者の年齢構成　　令和5年3月31日現在

年齢／性別	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	（計）	年　齢（歳）		
											最高	最低	平均
男性（名）	0	0	1	1	1	2	3	0	0	8	93	73	85.1
女性（名）	0	0	0	0	2	4	4	2	0	12	98	80	88.8
計（名）	0	0	1	1	3	6	7	2	0	20			87.3

（2）避難訓練実施状況

実施日	参加入居者数	立会者
R4.6.28	4名	無
R5.2.9	3名	無

4　苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 統括管理者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

ケアメントハウス花みずき

1 事業体制等

令和5年3月31日現在

区 分	統括管理者	管理者	介護職	その他	事務職	計（名）
正職員	兼1	兼1	兼7	－	兼1	兼10
準職員	－	－	兼4	2	－	2+兼4
（計）	兼1	兼1	兼11	2	兼1	兼10

【業務委託】 宿直；公益社団法人 富山市シルバー人材センター　　【協力病院】 里村クリニック
給食；スタミナフード株式会社
【併設事業所】デイサービス花みずき、ヘルパーステーション花みずき

【家賃等料金】 （単位；円）

内 訳	個室（1）	個室（2）	2人部屋
家 賃	35,000	30,000	35,000
共益費	23,000	23,000	28,000
管理費（税抜）	36,300	36,300	52,600
食 費（税抜）	1,555（日額）		

【居室数】

個室（1）	個室（2）	2人部屋
16室	3室	2室

＊個室（1）（2）は、面積が異なります。

2 高齢者住宅事業収入

（単位；円）

年度	家賃等収益	食費	その他	合計
2	25,140,088	12,667,200	38,069	37,845,357
3	25,049,510	13,208,160	52,082	38,309,752
4	24,741,826	13,115,760	28,743	37,886,329

3 入居者の状況

（1）入居者の年齢構成　　令和5年3月31日現在

年齢／性別	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	（計）	年 齢（歳）		
											最高	最低	平均
男性（名）	0	0	0	0	1	1	2	1	0	5	99	83	91
女性（名）	0	0	1	0	2	5	7	2	0	17	97	74	89
計（名）	0	0	1	0	3	6	9	3	0	22			90

（2）避難訓練実施状況

実施日	参加入居者数	立会者
R4.6.20	22名	なし
R5.2.22	22名	なし

4 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職 名 総合施設長	職 名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 素野 千昭	1件	1件	0件	無

ケアメントハウス花みずき弐番館

1 事業体制等

令和5年3月31日現在

区 分	統括管理者	管理者	事務職	清掃	計(名)
正職員	兼1	兼1	兼1	－	兼3
準職員	－	－	－	1	1
（計）	兼1	兼1	兼1	1	1+兼3

【業務委託】　宿直；公益社団法人 富山市シルバー人材センター　【協力病院】 里村クリニック
給食；スタミナフード株式会社
【併設事業所】デイサービス花みずき弐番館、ヘルパーステーション花みずき弐番館、グループホーム花みずき弐番館

【家賃等料金】　（単位；円）

内　訳	個　室	2人部屋
家　賃	35,000	35,000
共益費	23,000	28,000
管理費（税抜）	36,300	52,600
食　費（税抜）	1,555（日額）	

【居室数】

個室	2人部屋
18室	2室

2 高齢者住宅事業収入

（単位；円）

年度	家賃等収益	食費	その他	合計
2	24,236,336	12,455,520	26,050	36,717,906
3	24,187,331	12,484,080	53,434	36,724,845
4	23,961,418	11,864,160	40,931	35,866,509

3 入居者の状況

(1)入居者の年齢構成　　令和5年3月31日現在

年齢／性別	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	（計）	年　齢（歳）		
											最高	最低	平均
男性（名）	0	0	0	0	1	2	1	3	0	7	99	80	91.8
女性（名）	0	0	0	1	0	2	7	1	1	12	100	76	90.9
計（名）	0	0	0	1	1	4	8	4	1	19			91.4

(2)避難訓練実施状況

実施日	参加入居者数	消防署立会
R5.2.8	21名	無
R5.3.31	19名	無

4 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 統括管理者	評議員 松木　正夫 監事 素野　千昭	0件	0件	0件	無

ケアメントハウス花みずき参番館

1 事業体制等

令和5年3月31日現在

区 分	統括管理者	管理者	事務職	計（名）
正職員	兼1	兼1	兼1	兼3
準職員	0	0	0	0
（計）	兼1	兼1	兼1	兼3

【業務委託】　宿直　公益社団法人 富山市シルバー人材センター　　【協力病院】 里村クリニック
給食　スタミナフード株式会社
【併設事業所】 小規模多機能型居宅介護事業所花みずき参番館

【家賃等料金】　（単位;円）

内　訳	個　室	個室に2名入居の場合
家賃	35,000	35,000
共益費	23,000	28,000
管理費（税抜）	36,300	52,600
食　費（税抜）	1,555（日額）	

【居室数】

個室	2人部屋
21室	―

2 高齢者住宅事業収入

（単位;円）

年 度	家賃等収益	食費	その他	合計
2	24,365,004	11,776,800	17,820	36,159,624
3	24,195,232	12,151,440	17,820	36,364,492
4	24,325,792	12,237,120	19,195	36,582,107

3 入居者の状況

（1）入居者の年齢構成　　令和5年3月31日現在

年齢 / 性別	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	（計）	年　齢（歳）		
											最高	最低	平均
男性（名）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	92	89	90.5
女性（名）	0	0	0	1	2	9	7	5	0	24	97	84	89.9
計（名）	0	0	0	1	2	9	8	5	0	25			90.2

（2）避難訓練実施状況

実施日	参加入居者数	消防署立会い
R4.10.24	20名	無
R5.3.20	21名	有

4 苦情解決の状況

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員の名称等	受付件数 A	処理件数 B	未処理件数 C=A-B	第三者委員への報告
職　名 総合施設長	職　名 統括管理者	評議員 松木 正夫 監事 素野 千昭	0件	0件	0件	無

社会福祉法人
海望福祉会